

第1章 計画策定について

1. 計画の趣旨

スポーツは、次代を担う青少年の健全育成、地域の一体感や活力の醸成、心身の健康の保持増進などに重要な役割を果たすとされており、今日、国民が生涯にわたり心身ともに健康で文化的な生活を営む上で不可欠なものとなっています。

本市はこれまで「太陽とみどりにあふれた国際性ゆたかな文化都市」の実現を目標に、人口の増加や産業・経済の進展に対応した都市基盤施設の整備が進むなど、大きく発展をしてきました。また、平成23年には「第四次浦添市総合計画」を策定し、スポーツにおいては「いつでも、どこでも、だれでも楽しめる生涯スポーツの推進」を施策としてまちづくりの展開に努めてきました。

しかしながら、近年の全国的な潮流である少子高齢化の進展や、生活様式の多様化等による社会環境や生活環境の変化は本市においても例外ではなく、自治会加入率の低下に見られる人間関係の希薄化、青少年の体力向上や生活習慣病の予防、健康の保持増進、医療費の適正化等に繋がる健康づくり等に対応したスポーツ施策の役割、そして意義が重要となってきています。

一方、国においては、昭和36年に制定されたスポーツ振興法を50年振りに全部改正の上、平成23年8月よりスポーツ基本法を施行しました。また、翌年3月には我が国のスポーツ施策に関する基本的な方向性を示す「スポーツ基本計画」を策定し、国家戦略として新たなスポーツ文化の確立と位置づけをし、総合的・計画的に推進することを一層明確にしております。

「浦添市スポーツ推進計画」は、「スポーツ基本法」「スポーツ基本計画」を指針とし、平成25年に策定された「沖縄県スポーツ推進計画」及び平成23年策定の「第四次浦添市総合計画」と整合性を図りながら、「スポーツで豊かな心を育みともに支えあうまちづくり」を基本方針として、本市の諸課題解決のために、アンケート等から取得した本市の実情に即するスポーツの推進に努め、明るく元気なてだこのまちの創造を目指して策定するものであります。

2. 計画策定の背景

スポーツは、心身の健全な発達、健康及び体力の増進など、私たちが生涯にわたり心身ともに健康で文化的な生活を営む上で不可欠なものとなっています。スポーツには、次代を担う青少年の体力向上や、他者を尊重し協働する精神や規律を尊ぶ精神、実践的な思考力や判断力を育むなど人格の形成に大きな影響を及ぼすものです。また、人と人との交流及び地域間での交流を促進し、地域の一体感や活力の醸成にも寄与します。そして、スポーツを通じて幸福で豊かな生活を営むことはすべての人々の権利であり、健康で活力に満ちた社会の実現に不可欠なものです。

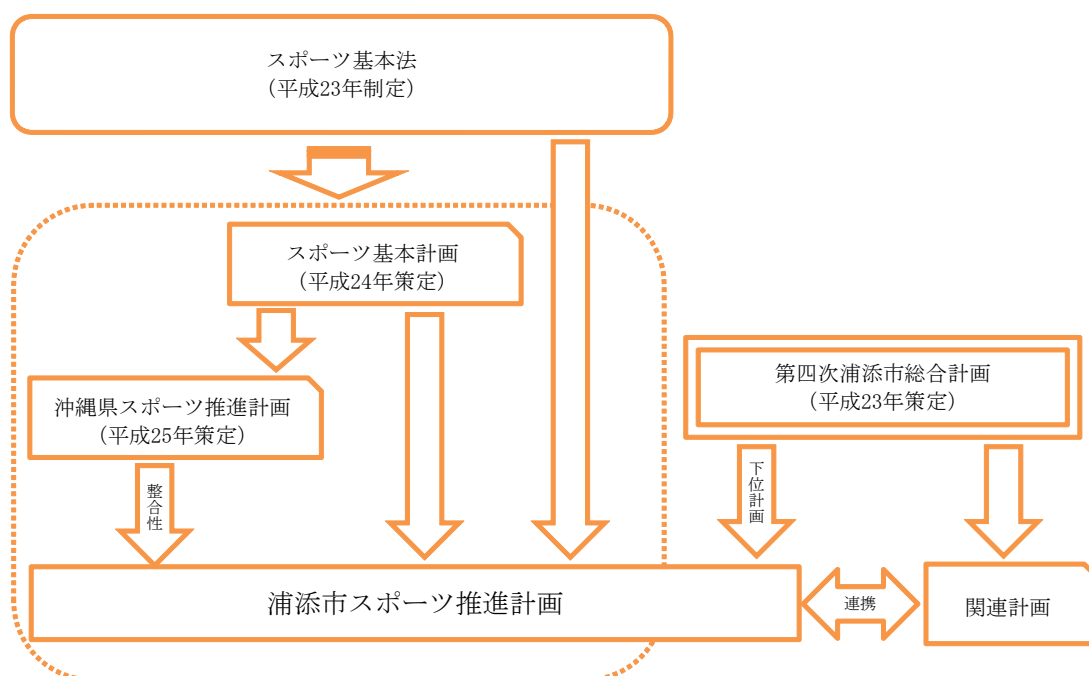
本市はこれまで、スポーツの果たす役割や意義を重要なものとして捉え、スポーツの振興に努めてきました。スポーツを通じた市民の健康づくりや市民生活を明るく豊かにすることを目的とした浦添市自治会対抗陸上競技大会は浦添市体育協会が設立される以前から開催され、浦添市体育協会が設立された後には平成26年度で60回を迎えるなど長い歴史を持ちます。また、昭和62年の国民体育大会（海邦国体）を契機として、ハンドボール競技普及が浦添市ハンドボール協会を中心として盛んとなり、現在では市内16小中学校の全てにハンドボールクラブが存在するほど盛んに行われております。実績においても、日本有数のハンドボール強豪都市として全国に知られており、本市においてはその経緯・状況を踏まえ、平成16年に「浦添市ハンドボール王国都市宣言」を行いました。この宣言は児童生徒に夢と希望を与え、市民の誇りとなっております。

このような中、本県における諸課題の、車社会・夜型社会の進行につれて、子どもや若い世代の肥満者の割合が全国平均に比べて極めて高く、子どもの体力・運動能力も全国平均に比べて劣っています。このため、食生活と運動習慣等の改善によって生活習慣病の予防を図っていくことが重要な課題となっています。また、価値観の多様化、人間関係の希薄化や地域コミュニティの活気が薄れていくことが予期される等、多様化や変化に起因する問題や課題などに、本市は取り組んでいかなければなりません。

平成23年に策定した第四次浦添市総合計画を基本とし、具体的なスポーツ推進施策を通して変化する社会情勢に対応するため、本計画を策定する意義があります。

3. 計画の位置づけ

本計画は、スポーツ基本法第四条「地方公共団体の責務」及び第十条「地方スポーツ推進計画」に基づく地方スポーツ推進に関する計画です。「スポーツ基本法」「スポーツ基本計画」を指針とし、平成25年に策定された「沖縄県スポーツ推進計画」との整合性に留意しながら、「第四次浦添市総合計画」の具体的推進を図る下位計画として位置づけます。また、「第四次浦添市総合計画」に基づいた他の市計画と整合性をとり、連携を図りながら推進を行うものです。



4. 計画の期間

本計画は、平成27年度（2015）から平成36年度（2024）までの10年間を計画期間とします。また、平成27年度から平成31年度までを前期、平成32年度から平成36年度までを後期とし、中間年度の平成31年度に必要があれば見直しを行います。さらに、第四次浦添市総合計画の期間が平成32年度までとなっていることや、社会情勢の変化に対応するため、見直しの必要が生じた場合は、適宜、計画の見直しを行います。

H27 (2015)	H28 (2016)	H29 (2017)	H30 (2018)	H31 (2019)	H32 (2020)	H33 (2021)	H34 (2022)	H35 (2023)	H36 (2024)
浦添市スポーツ推進計画									
前期計画期間（平成27年度～平成31年度）					後期計画期間（平成32年度～平成36年度）				
第四次浦添市総合計画期間									
沖縄県スポーツ推進計画									

- 浦添市スポーツ推進計画
（平成27年度～平成36年度）
- 第四次浦添市総合計画
（平成23年度～平成32年度）
- 沖縄県スポーツ推進計画
（平成25年度～平成33年度）

第2章 浦添市の現状と課題

1. 浦添市の特性

(1) 位置・地形

浦添市は沖縄県の南側に位置し、南は県庁所在地の那覇市、北は宜野湾市、東は西原町と接しています。また、西側の東シナ海と接しているところはアメリカ海兵隊の兵站基地「牧港補給地区 (Camp Kinser)」があります。

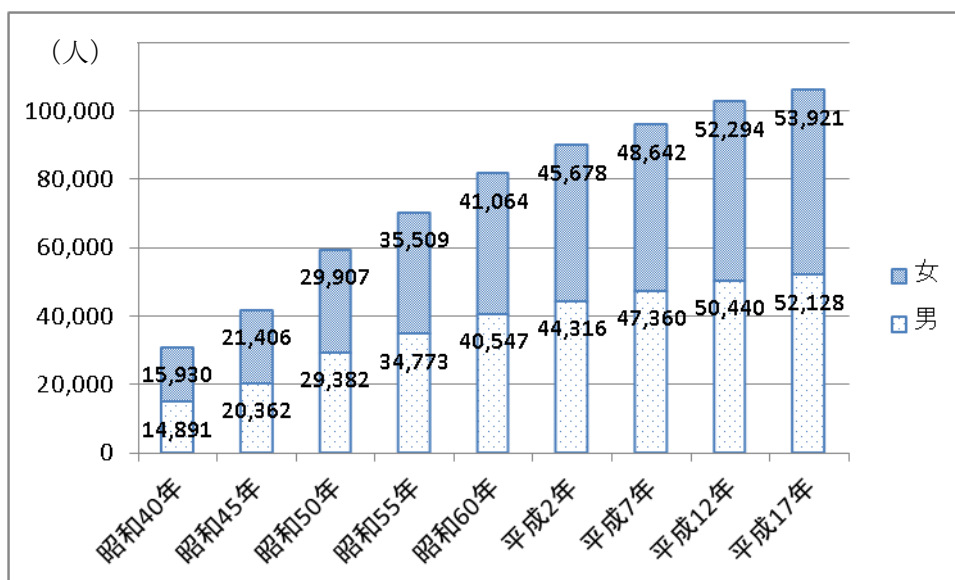
市の中心部には、浦添市役所が有り、また本市のスポーツの中心地である浦添運動公園があります。

市域は、北を頂点として南西と南東に広がった扇状の形をしており、浦添ふ頭・沖縄県中央卸売市場として使用されている伊奈武瀬地区は飛地となっています。

(2) 人口

浦添市の人口は、2014年（平成26年）で11万3千人程となっており、増加傾向にあるものの、近年の人口の伸びは鈍化しています。第四次浦添市総合計画では、人口推移を以下のとおりとしています。

■人口の推移

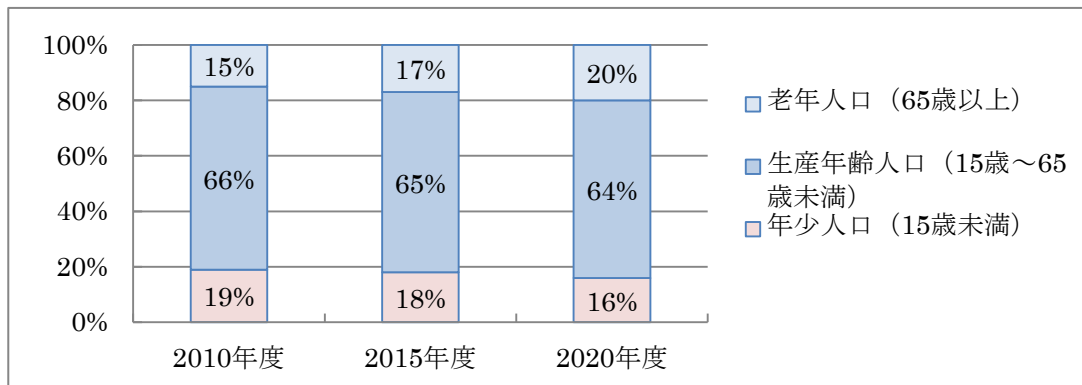


第 2 章 浦添市の現状と課題

■年齢 3 区分別人口

	2010 年度 (平成 22 年度)		2015 年度 (平成 27 年度)		2020 年度 (平成 32 年度)	
	人口 (人)	割合 (%)	人口 (人)	割合 (%)	人口 (人)	割合 (%)
総人口	110,000	100%	116,000	100%	120,000	100%
年少人口 (15 歳未満)	21,100	19%	20,900	18%	19,200	16%
生産年齢人口 (15～65 歳未満)	73,200	66%	75,400	65%	76,800	64%
老年人口 (65 歳以上)	16,600	15%	19,700	17%	24,000	20%

■年齢 3 区分別将来人口



2. スポーツ施設

浦添運動公園は、浦添市民体育館をはじめとした多くの公共スポーツ施設があり、本市のスポーツ活動の中心地です。また夜間の学校体育施設を開放し、市民が定期的にスポーツ活動を行う環境を整備しています。公共スポーツ施設の週末や休日の利用は、各種大会やイベントで飽和状態にありますが、平日昼間の利用は比較的少ない状況にあります。

(1) 浦添市立体育施設及び浦添市温水プールまじゅんらんど

平成 25 年度の浦添市立体育施設及び浦添市温水プールまじゅんらんど施設年間利用者数は、約 101 万人であり、100 万人の大台を突破しています。平成 24 年度と比べ、およそ 10 万人の増加がありました。

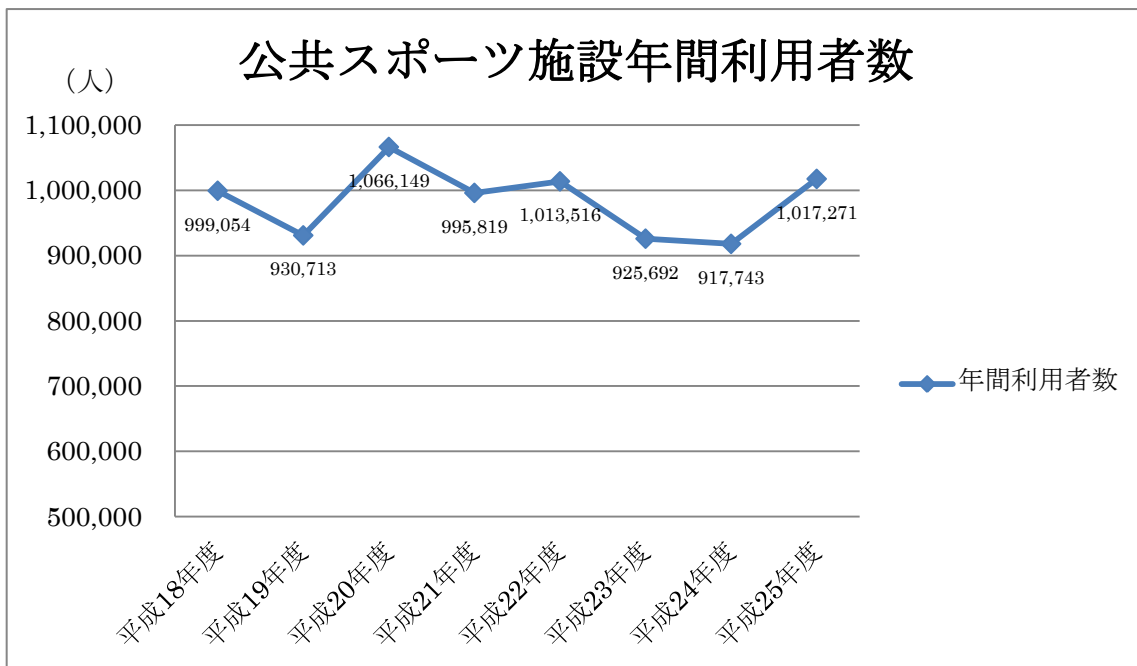
施設一覧

N o	施 設 名	利用競技等	住所
1	浦添市陸上競技場 (昭和 59 年落成)	陸上競技、サッカー競技、グラウンド・ゴルフ、ゲートボール等	仲間 1-13-1 (浦添運動公園内)
2	浦添市民体育館 (昭和 62 年落成)	ハンドボール、バスケットボール、バレーボール、バドミントン等	仲間 1-13-1 (浦添運動公園内)
3	浦添市武道場 (平成 9 年落成)	柔道、剣道、空手道、合気道、総合格闘技等	仲間 1-13-1 (浦添運動公園内)
4	浦添市多目的屋内運動場 (平成 10 年落成)	ドッジボール、ゲートボール、テニス、フットサル、3on3 等	仲間 1-13-1 (浦添運動公園内)
5	浦添市民相撲場 (平成 16 年落成)	相撲	仲間 1-13-1 (浦添運動公園内)
6	浦添市多目的屋外運動場 (平成 9 年落成)	野球内野練習、ソフトボール内野練習、グラウンド・ゴルフ等	仲間 1-13-1 (浦添運動公園内)
7	浦添市民球場 (平成 8 年落成)	硬式野球、軟式野球、ソフトボール等	仲間 1-13-1 (浦添運動公園内)
8	中央ゲートボール場 (平成 1 年供用)	ゲートボール、グラウンド・ゴルフ等	沢峠 1120

第2章 浦添市の現状と課題

9	中央ゲートボール場B (平成 25 年供用)	ゲートボール、グラウンド・ゴルフ等	経塚 289
10	伊奈武瀬球場 (昭和 59 年供用)	軟式野球等	伊奈武瀬 1 丁目 8 番内
11	浦添市民テニスコート (平成 4 年供用)	軟式テニス、硬式テニス	港川 1 丁目 37 番 1 号
12	浦添市温水プールまじゅんらんど (平成 16 年落成)	水泳、水中運動等	仲間 1-13-1 (浦添運動公園内)

	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25
市立体育施設	921,562	851,863	981,907	909,798	933,046	839,321	840,925	928,215
温水プールまじゅんらんど	77,492	78,850	84,242	86,021	80,470	86,371	76,818	89,056
合計	999,054	930,713	1,066,149	995,819	1,013,516	925,692	917,743	1,017,271

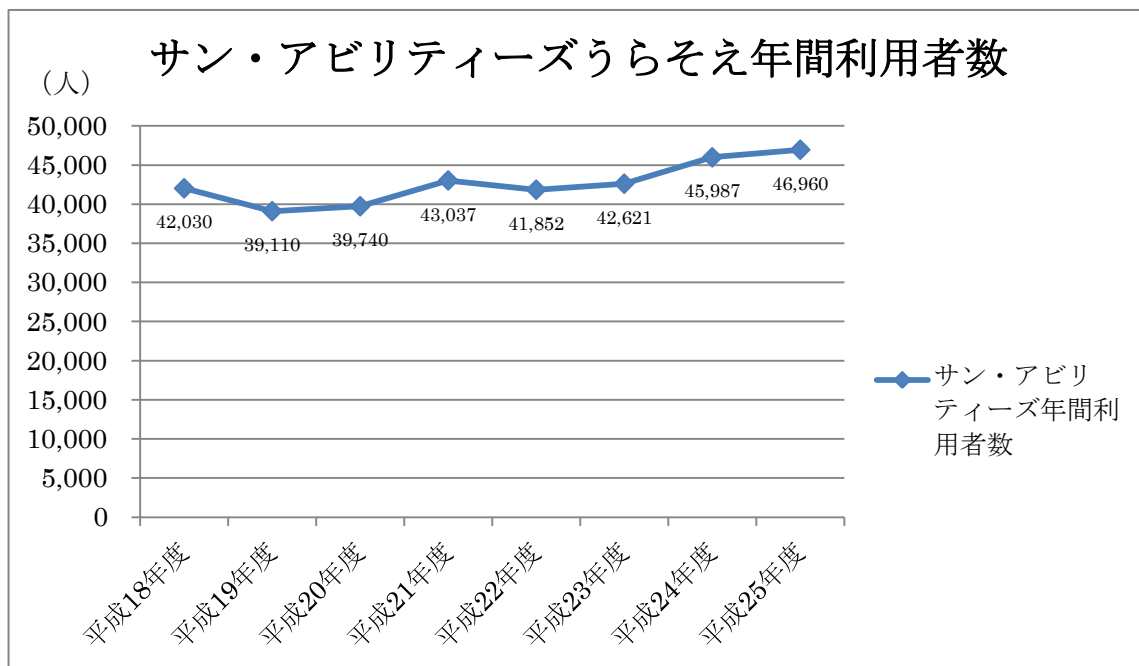


第2章 浦添市の現状と課題

(2) サン・アビリティーズうらそえ

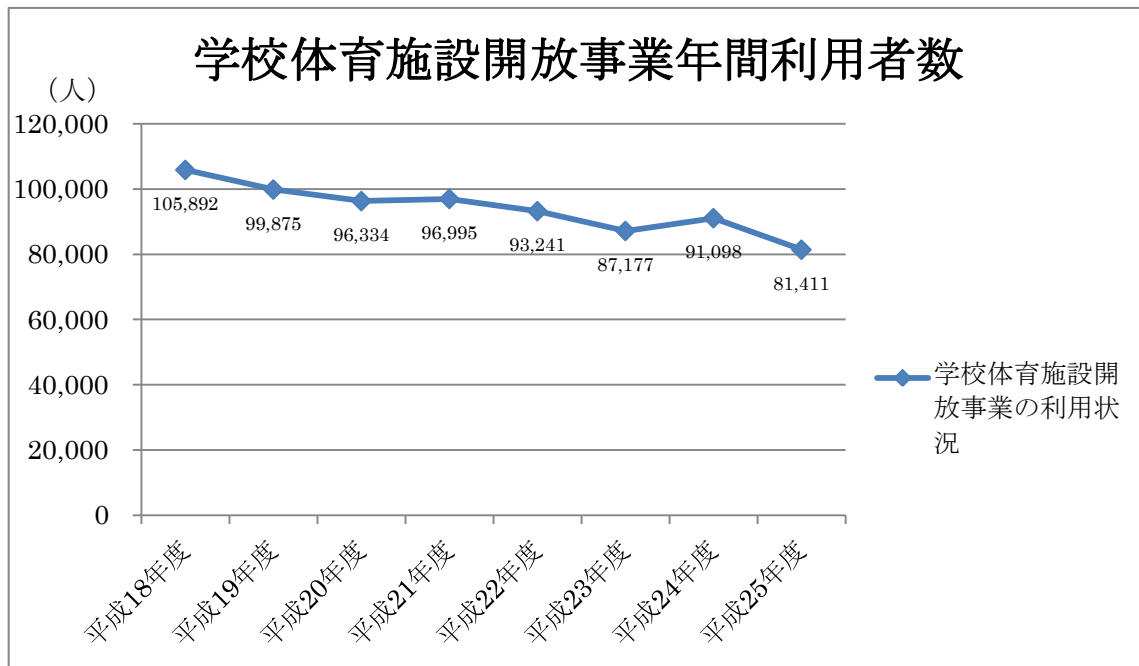
障がいのある方がスポーツや文化活動を通して機能回復・健康増進を図るだけでなく、一般市民も気軽に利用できる施設として、障がい者との交流、スポーツ・教養文化・コミュニティ活動がより一層盛んになることを目的としている施設です。

	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25
サン・アビリティーズうらそえ	42,030	39,110	39,740	43,037	41,852	42,621	45,987	46,960
合計	42,030	39,110	39,740	43,037	41,852	42,621	45,987	46,960



(3) 学校体育施設開放事業

市内 16 小中学校の体育館・運動場・テニスコートを、学校教育に支障の無い範囲で、スポーツ利用などに開放しています。平成 25 年度利用者数は約 8 万人となっており、利用人数の減少傾向が見られます。理由としては、市内小中学校の老朽化による工事の影響により施設が制限されたり、競技種目の多様化により小中学校体育施設での活動が難しくなっていることが考えられます。



3. スポーツ事業

本市では浦添市体育協会等を中心として多くのスポーツイベントやスポーツ教室等が開催されており、その一部を下記のとおり、抜粋して掲載します。その中で、「てだこウォーク」や「東京ヤクルトスワローズ春季キャンプ」については、本市の春の3大風物詩として、市民に定着しており、スポーツツーリズムの推進も図りながら開催されています。

(1) スポーツイベント一覧

開催 時期	イベント名	開催場所	写真
4月	浦添市内中学校親善野球大会	市民球場	
7月	浦添市内小学生水泳大会	市内小学校	
9月	浦添市小中学生陸上競技大会	市陸上競技場	
10月	いきいきスポーツレクリエーション祭り	浦添運動公園	
11月	浦添市ハンドボール王国まつり	市民体育館	
2月	てだこウォーク	市民体育館	
2月	東京ヤクルトスワローズ春季キャンプ	市民球場他	

第2章 浦添市の現状と課題

(2) 主な浦添市自治会対抗総合体育大会開催事業（浦添市体育協会）

開催 時期	イベント名	開催場所	主管団体
6月	浦添市自治会対抗グラウンド・ゴルフ大会	市陸上競技場	浦添市グラウンド・ゴルフ協会
6月	浦添市自治会対抗総合バレーボール大会	市民体育館	浦添市バレーボール協会
6月	浦添市自治会対抗野球大会	市民球場・他	浦添市野球協会連盟
7月	浦添市自治会対抗ボウリング大会	民間施設	浦添市ボウリング協会
8月	浦添市自治会対抗バドミントン大会	市民体育館	浦添市バドミントン協会
8月	浦添市自治会対抗卓球大会	民間施設	浦添市卓球協会
8月	浦添市自治会対抗バスケットボール大会	市民体育館	浦添市バスケットボール協会
9月	浦添市自治会対抗ゲートボール大会	中央ゲートボール場	浦添市ゲートボール協会
9月	浦添市自治会対抗ハンドボール大会	市民体育館	浦添市ハンドボール協会
9月	浦添市自治会対抗ソフトボール大会	市民球場	浦添市ソフトボール協会
9月	浦添市自治会対抗ゴルフ大会	民間施設	浦添市ゴルフ協会
10月	浦添市自治会対抗陸上競技大会	市陸上競技場	浦添市陸上競技協会

第2章 浦添市の現状と課題

(3) 障がい者対象のスポーツ教室や大会等

平成25年度 サン・アビリティーズうらそえ 事業内容

		事業名	期間	回数	対象	参加人数 (人)
1	スポーツ部門	3on3車いすバスケット	4月28日	1	障がい者	50
2		ターゲットボッチャ大会	6月2日	1	障がい者	55
3		卓球バレー大会	6月30日	1	障がい者	62
4		水中運動教室	9月5日～26日	4	障がい者	28
5		車いすサッカー大会	7月28日	1	障がい者	33
6		ゲートボール大会	9月22日	1	障がい者	42
7		いきいき体操教室	通年	10	障がい者	105
8		マットゴルフ大会	11月16日	1	障がい者	38
9		自彊術教室	10月1日～29日	4	障がい者	42
10		スポーツチャンバラ	10月27日	1	障がい者	7
11		スカットボール大会	2月15日	1	障がい者	42
12		風船バレーボール大会	12月22日	1	障がい者	29
13	障がい児部門	障がい者スポーツ体験教室	10月14日	1	障がい児	56
14		障がい児水泳教室	前期～後期	10	障がい児	105
15		障がい児運動会	体験教室同時進行	1	障がい児	
16		障がい児体操教室	4月～通年	20	障がい児	210

4. 市民のスポーツ実施状況等

本計画を策定するにあたり、平成26年1月に「浦添市スポーツ推進計画 市民アンケート調査」を実施しました。

これらの調査結果を踏まえ、市民のスポーツ実施状況を以下のように分析しました。

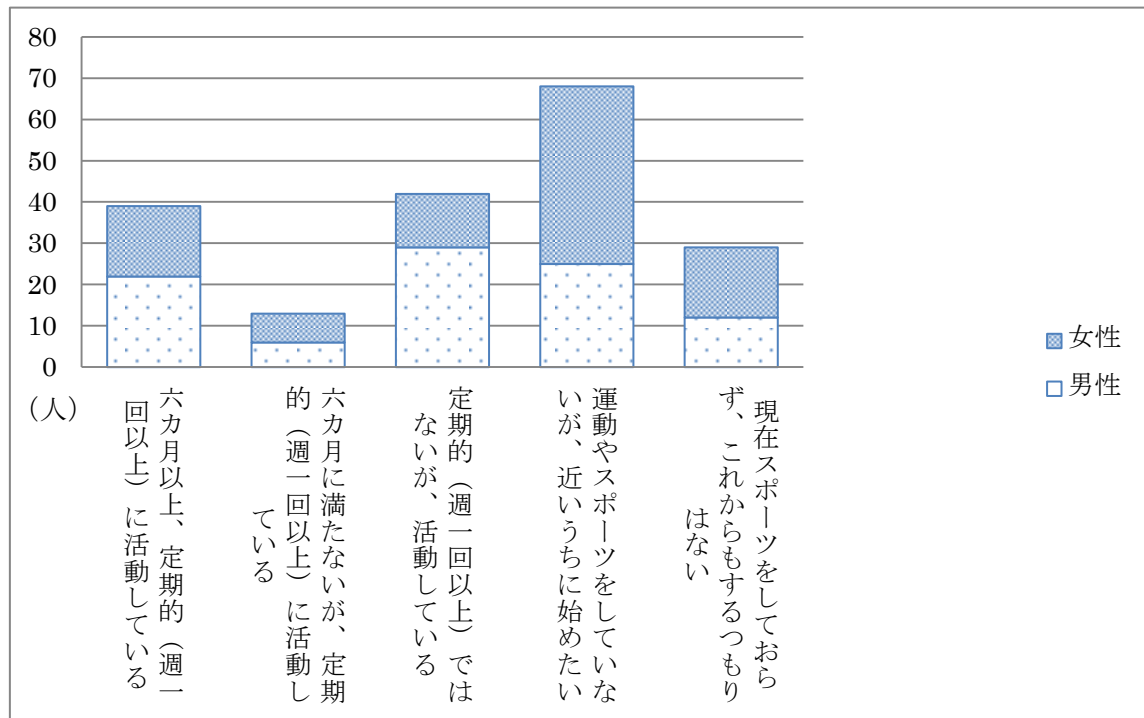
(1) 市民のスポーツに対する取組

アンケートによると、「6ヶ月以上定期的（週1回以上）に活動している」と答えた市民は約20%、「定期的（週1回以上）ではないが活動している」、「6ヶ月に満たないが、定期的（週1回以上）に活動している」と答えた市民と合わせると、約49%の市民が期間を問わず何らかの形でスポーツを行っています。男女別では、男性約61%、女性約38%がスポーツを実施していると答えており、女性のスポーツ活動は男性に比べて低いと考えられます。しかしながら、「運動やスポーツをしていないが近いうちに始めたい」と考えている市民は、男性約27%、女性約44%であり、女性のスポーツ活動に対する欲求は内在していると考えられます。また、「運動やスポーツをしていないが、近いうちにスポーツを始めたい」と考えている市民は全体の約35%あり、70代を除く各年代層で最も多い結果となりました。

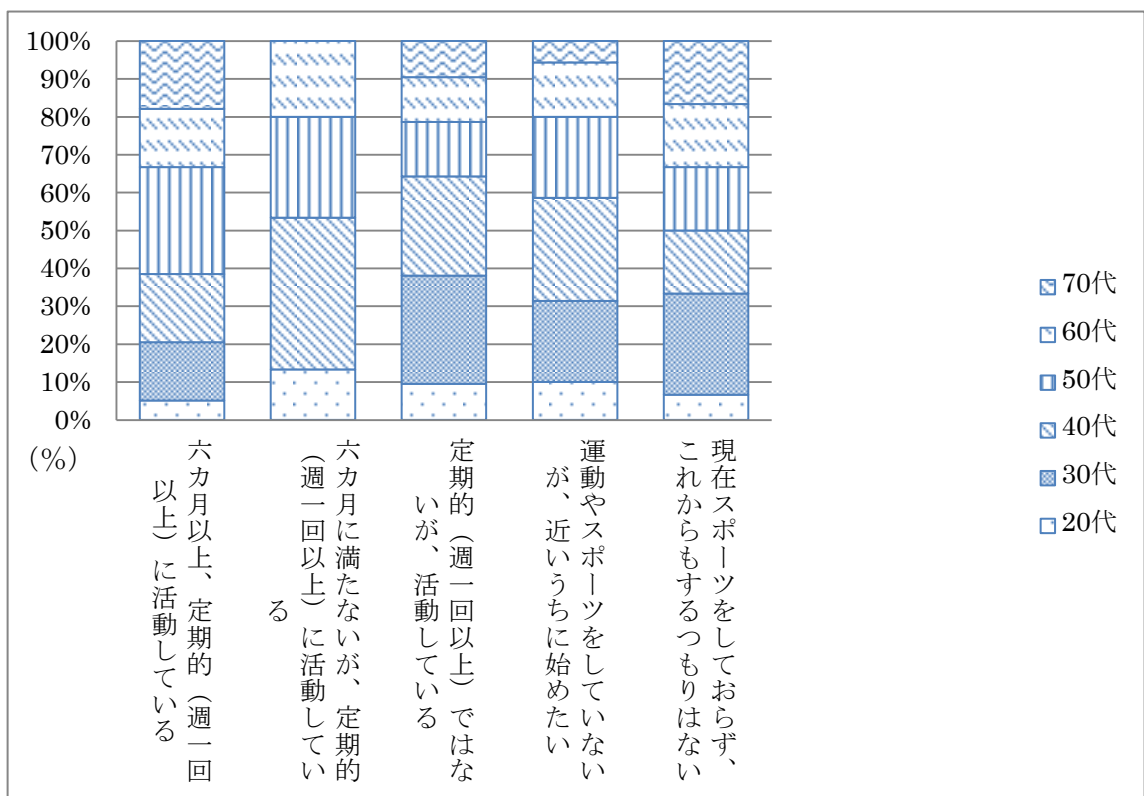
スポーツを行っていない理由としては、「忙しくて時間がない」が最も多く、「仕事や家事で疲れている」と合わせると、全体の約45%となりました。気軽にスポーツを始めるきっかけづくりやスポーツイベントに関する情報提供の方法、あるいは利用しやすいスポーツ施設のあり方等について、引き続き検討し、その対策を講じていかなければなりません。

問1 あなたの現在の運動やスポーツ活動状況を教えてください

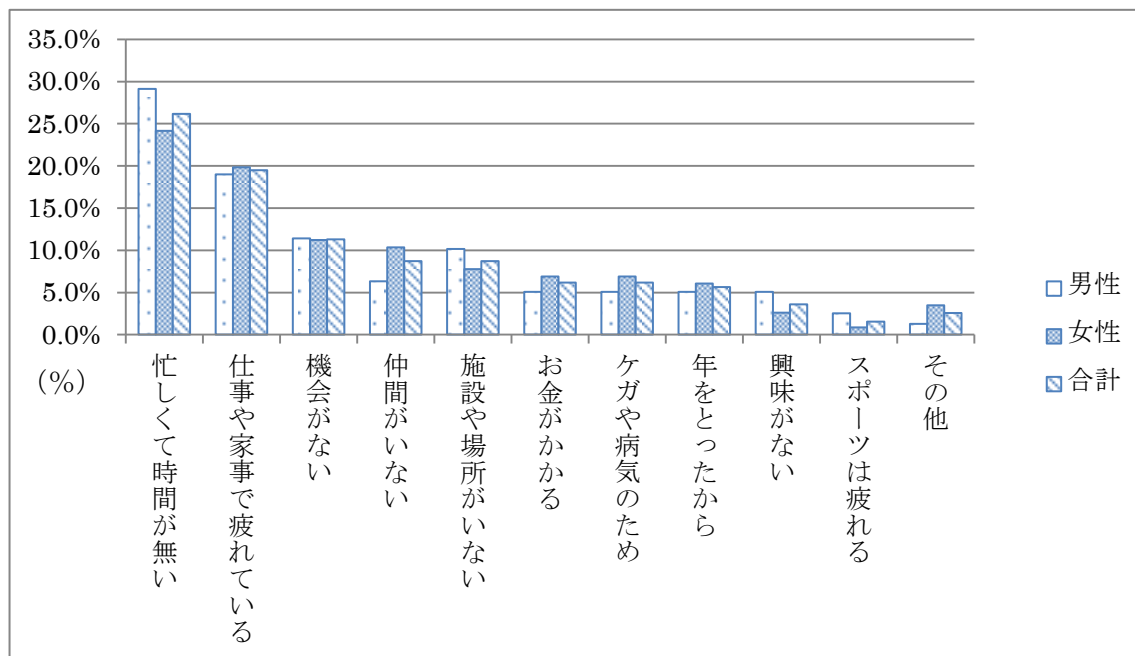
【男女別】



【年代別】



問2 問1「(1)現在スポーツをしておらず、これからもするつもりはない」及び「(2)運動やスポーツをしていないが、近いうちに始めたい」と答えた方に質問します。運動やスポーツをしない理由は何ですか。【主なもの2つ以内】



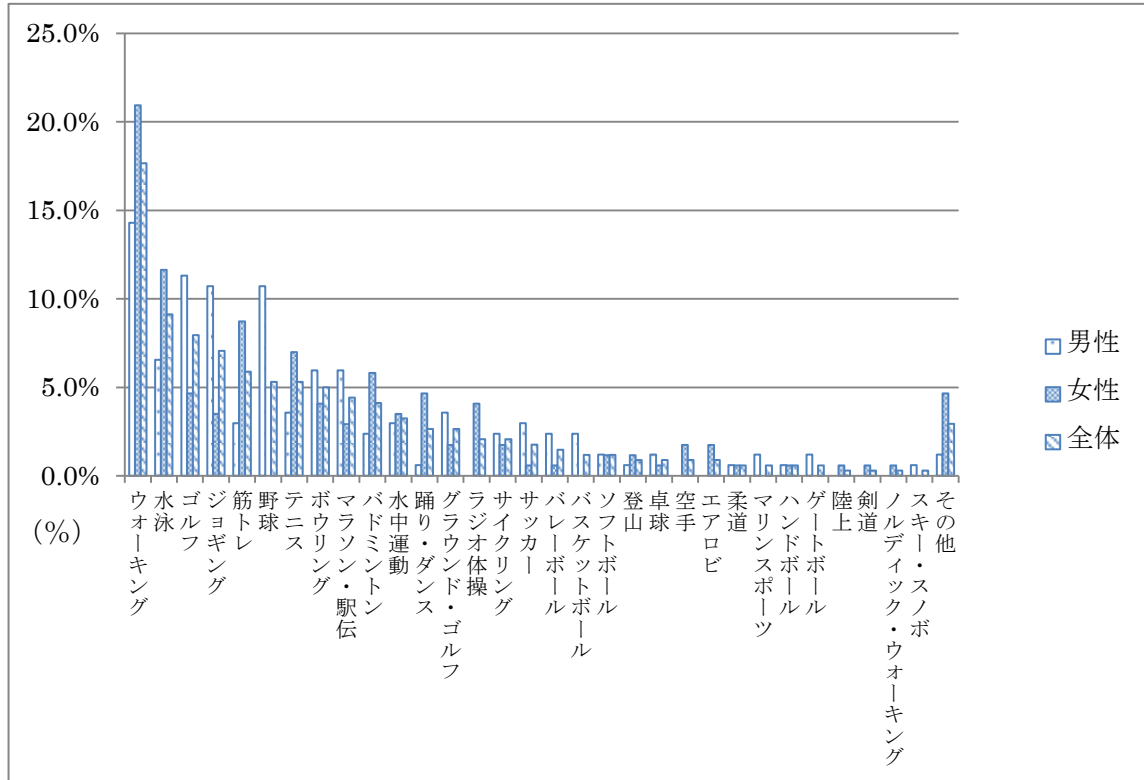
スポーツ種目への興味については、「ウォーキング」、「水泳」、「ゴルフ」などの個人でできるスポーツ種目が好まれる傾向がありました。「ウォーキング」は、30代から70代までの幅広い年齢層で人気があり、本市のウォーキングイベントである「てだこウォーク」に参加したことがあると答えた市民も多くいました。

しかしながら、60代から70代に人気の「グラウンド・ゴルフ」が若年層にあまり人気が無かったり、逆に20代から50代で親しまれている「バドミントン」が高齢者での支持が無かったりと、年代・性別に応じて親しまれているスポーツが異なることから、それぞれのニーズに応じた対応が求められます。

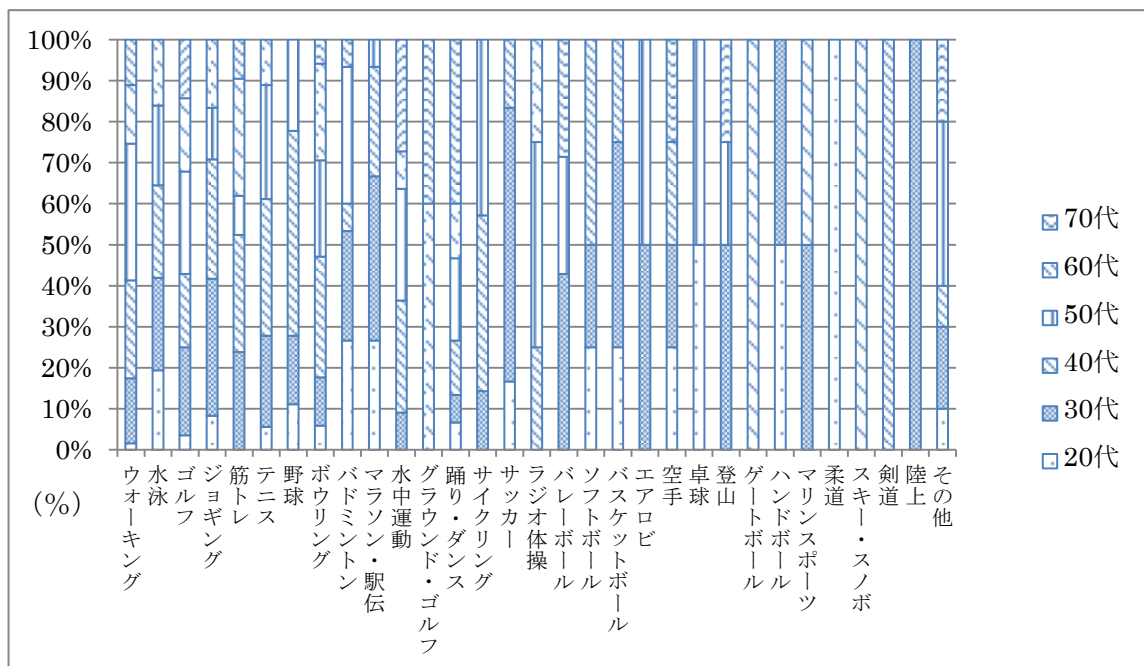
第2章 浦添市の現状と課題

問3 あなたは現在どのような運動やスポーツをしていますか。又、現在スポーツをやっていない方で、行ってみたいスポーツは何ですか。(主なもの3つ以内)

【男女別】



【年代別】

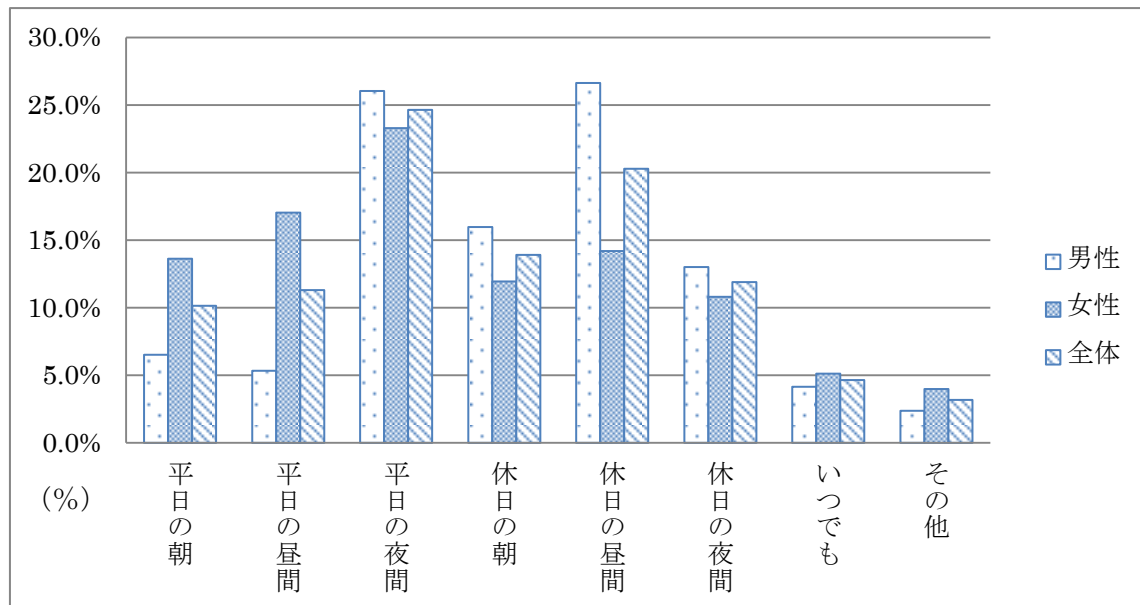


第2章 浦添市の現状と課題

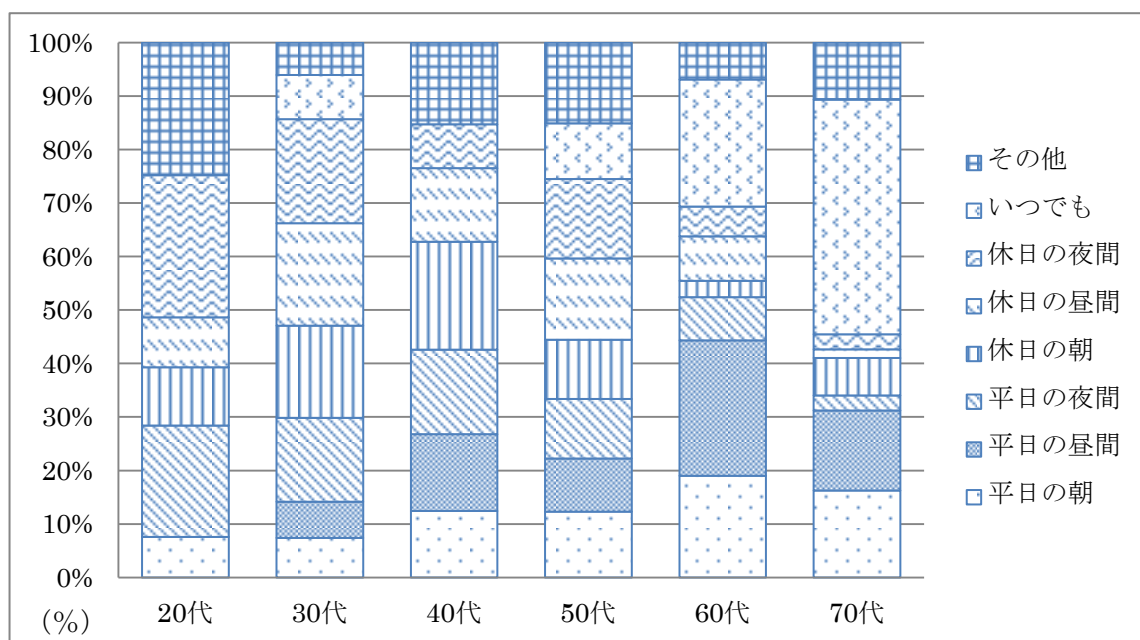
また、運動やスポーツをする際の都合の良い日時については、20代から50代では、「平日の夜間」及び「休日の昼間」が多い結果となりました。逆に、60代から70代においては、平日の昼間や朝が多い結果となりました。年代によってスポーツ実施を希望する時間帯が異なることから、そのニーズに合わせた運動機会の提供を行っていく必要があります。

問5 あなたが運動やスポーツをする際に、都合のよい日時はいつですか。【主なもの2つ以内】

【男女別】



【年代別】

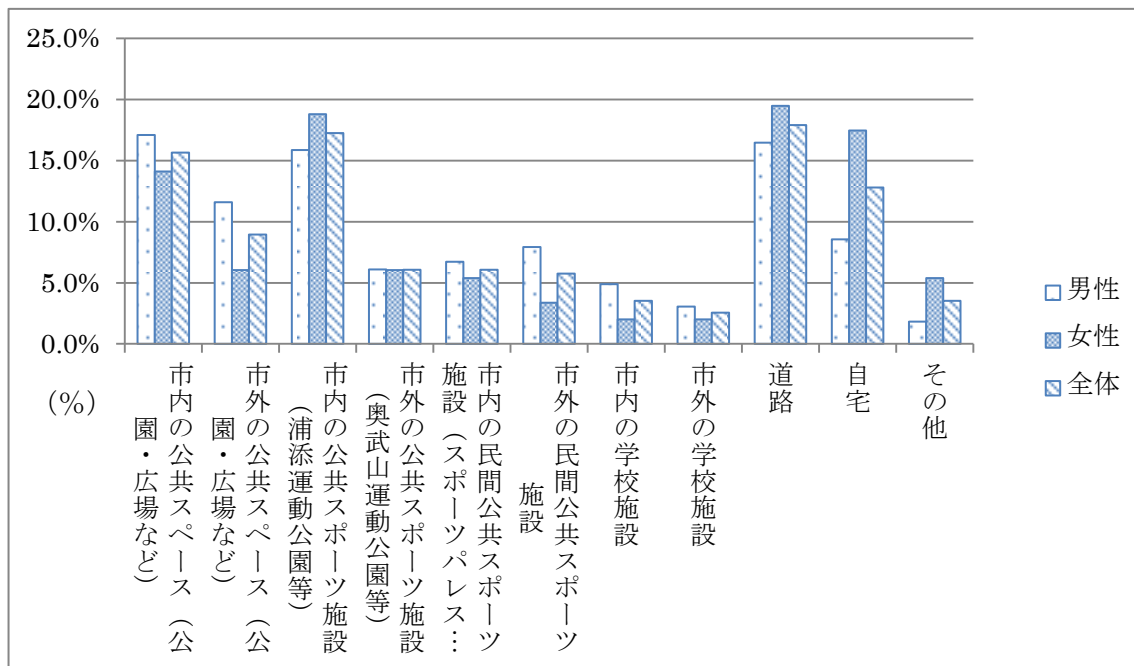


第2章 浦添市の現状と課題

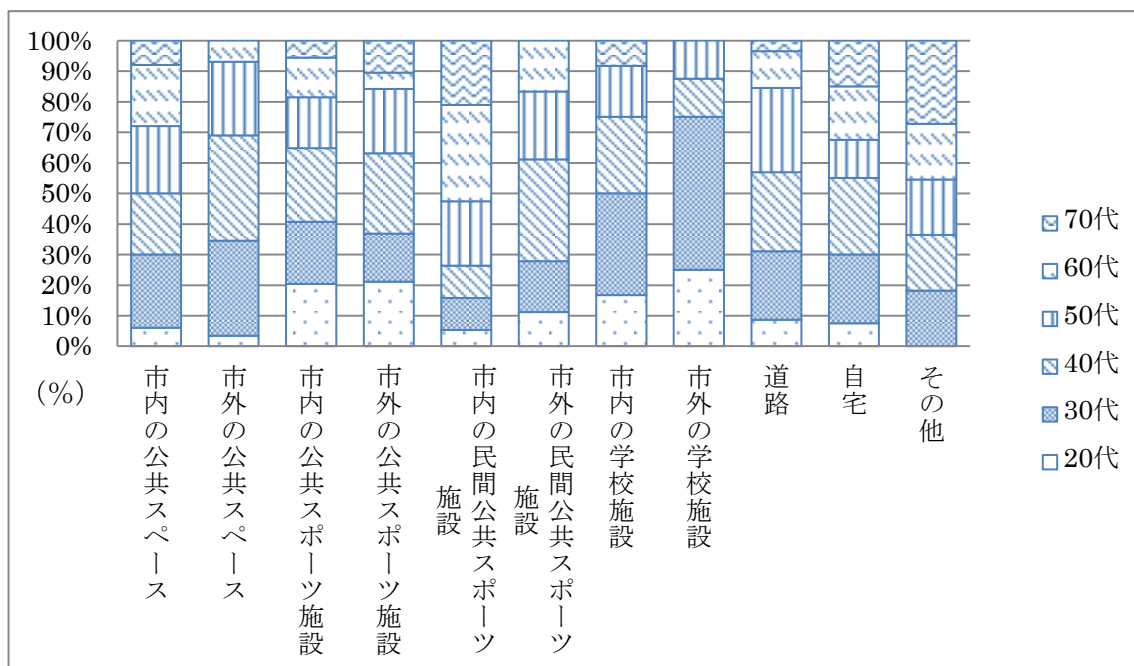
スポーツ活動の場所について、「道路」と答えた市民が男女とも多く、次いで「市内の公共スポーツ施設」、「市内の公共スペース」と続きました。

問6 あなたは主にどこでスポーツをしていますか。【主なもの2つ以内】

【男女別】



【年代別】

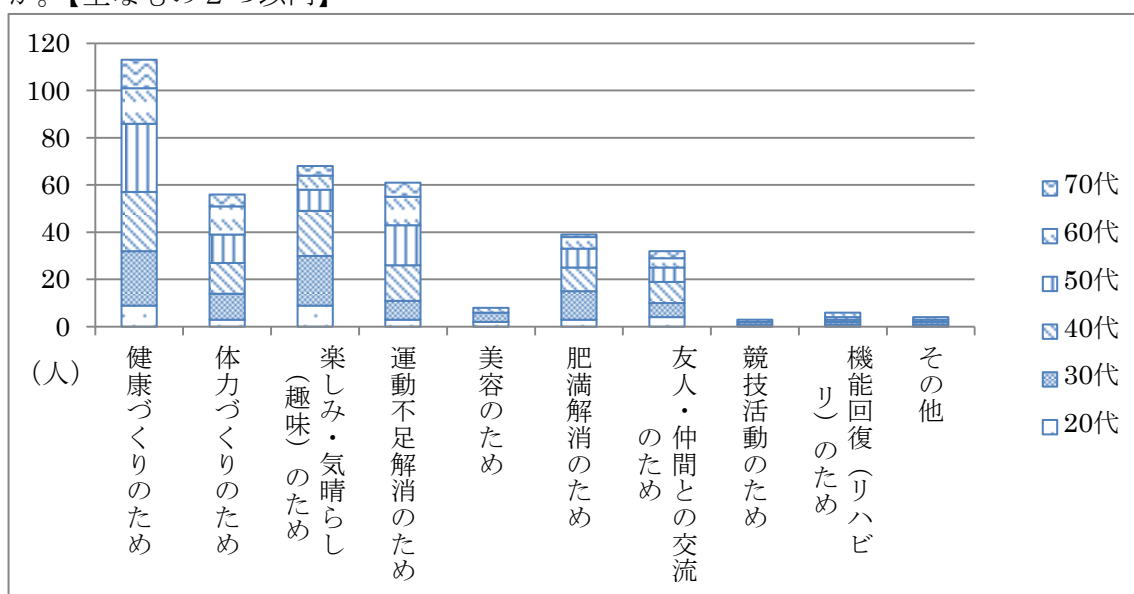


(2) 市民のスポーツに対する意識

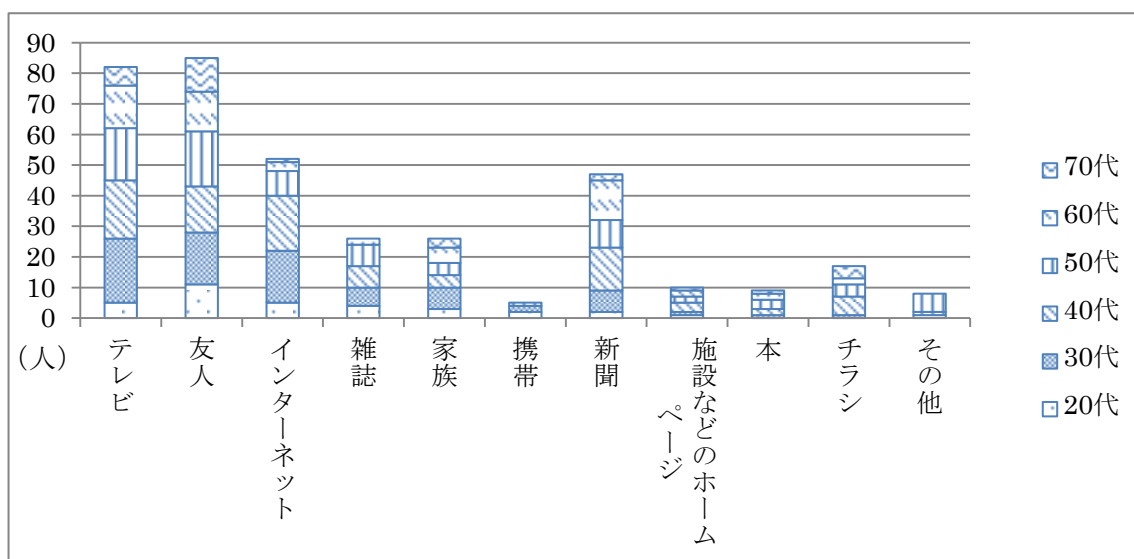
アンケートによると、スポーツ活動を行う理由（メリット）について、「健康づくりのため」と答えた市民が最も多く、全体の3割を超えます。健康づくりに関しては、どの年代層もメリットとして認識しており、大きな動機となっております。

また、スポーツに関する情報源として、「友人」、「テレビ」について、インターネットがきており、近年普及しているスマートフォン等にも対応したスポーツ情報の発信について検討していかなければなりません。

問8 運動やスポーツ活動を行う理由（メリット）は何ですか。また、何だと思いますか。【主なもの2つ以内】



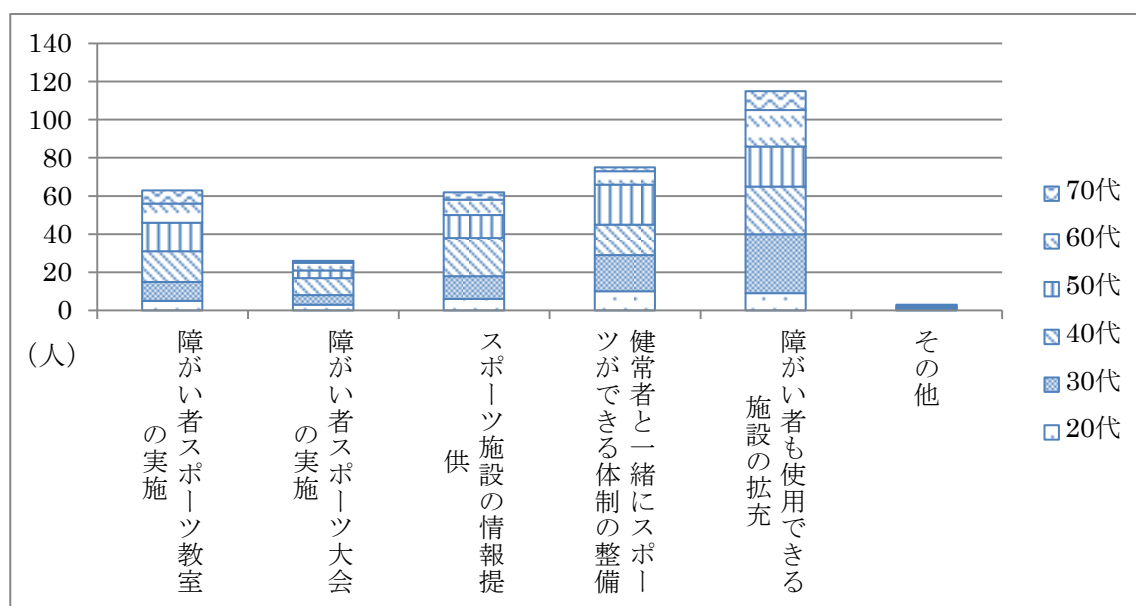
問9 あなたはスポーツに関する情報はどこから得ていますか。【主なもの2つ以内】



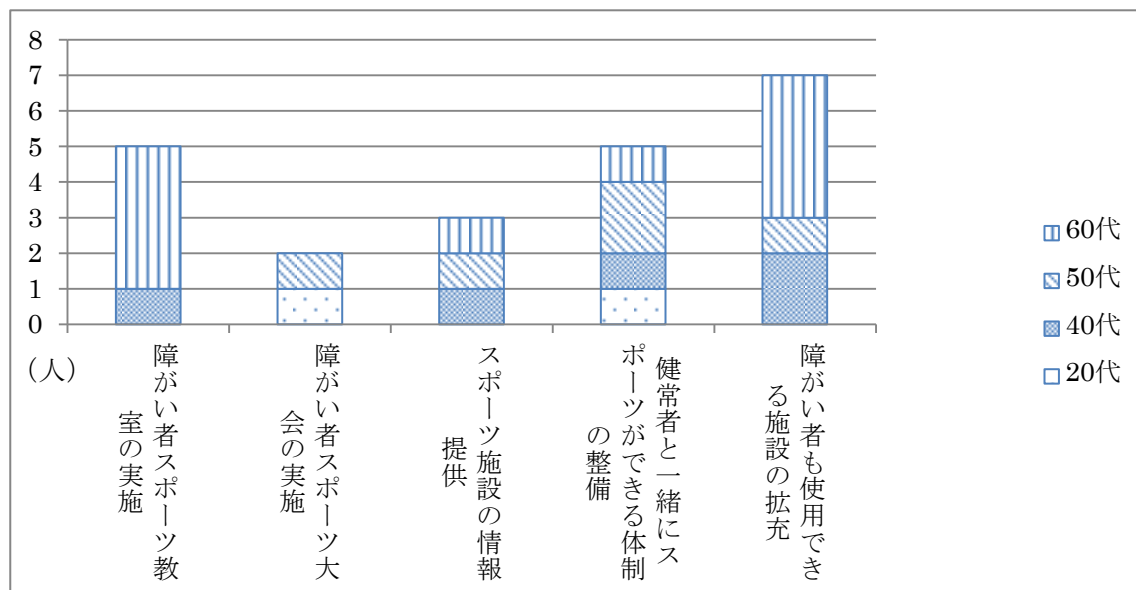
(3) 障がいのある方へのスポーツに対する意識

今回のアンケートでは、障がい手帳を持つ方と持たない方に分けて、障がいのある方へのスポーツ普及・推進についての設問を設けました。その結果、両者ともが、「障がい者も利用できるスポーツ施設の拡充」及び「健常者と一緒にスポーツができる体制の整備」が高くなりました。また、障がい手帳を持つ方においては、「スポーツ教室の実施」についても高くなっており、要望があることが分かります。

問 11 障がい手帳を持たない方に質問します。障がいのある方へのスポーツ普及・推進においてあなたが必要であると思うのは何ですか。【主なもの2つ以内】



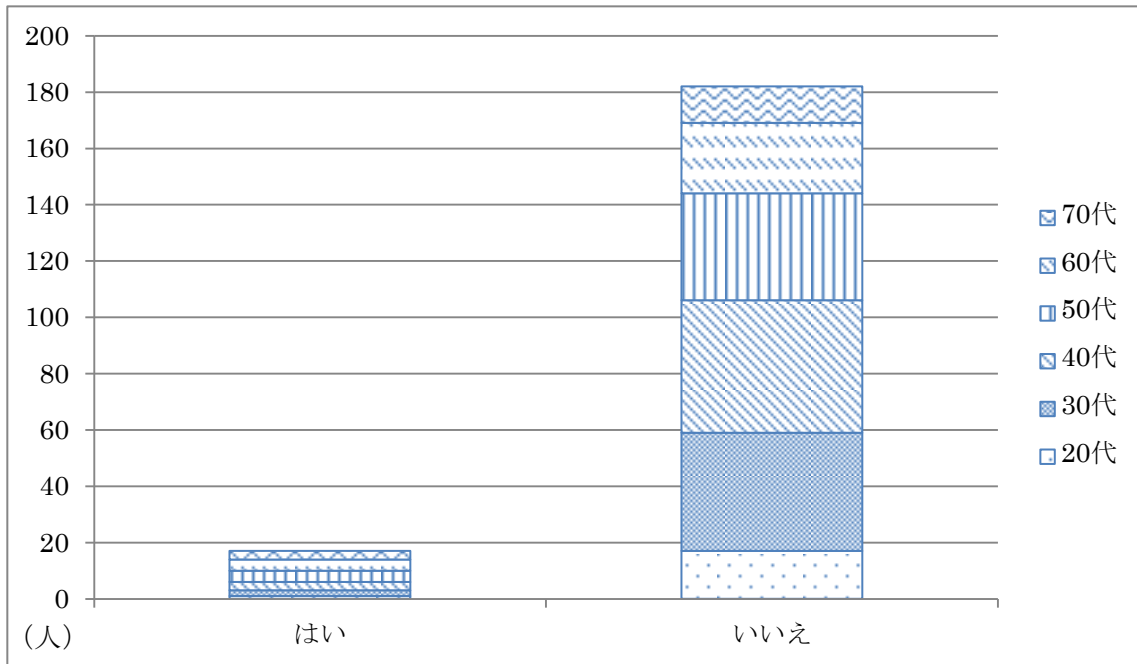
問 12 障がい手帳を持つ方に質問します。障がいのある方へのスポーツ普及・推進においてあなたが必要であると思うのは何ですか。【主なもの2つ以内】



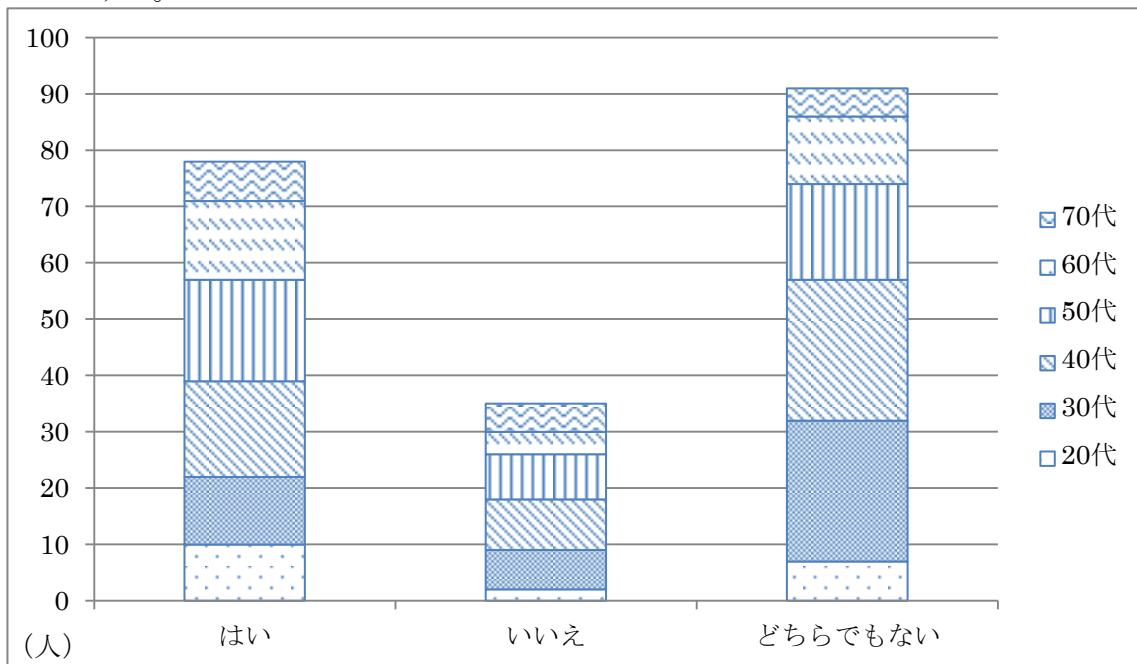
(4) 総合型地域スポーツクラブ

アンケートによると、9割の市民が総合型地域スポーツクラブを認知していませんでした。しかしながら、地域にスポーツクラブがあれば加入したいと考えている方は多く、スポーツクラブの広報強化が求められてくると考えられます。

問 14 総合型地域スポーツクラブを知っていますか。



問 15 もし、あなたが住んでいる地域に総合型地域スポーツクラブがあれば、加入したいですか。



第3章 基本的な考え方

1. 基本方針

本市におけるスポーツ推進の目的及び現状を踏まえ、全ての市民が様々な形でスポーツ・レクリエーション活動に親しむよう、本計画書の基本方針を次のとおり設定致します。

スポーツで豊かな心を育みともに支えあうまちづくり

スポーツは、地域の一体感や活力の醸成、心身の健康の保持増進などに重要な役割を果たすとされており、豊かな心を育むことができます。スポーツは、今日、国民が生涯にわたり心身ともに健康で文化的な生活を営む上で不可欠なものとなっています。

生涯スポーツとは、「幼児・児童・生徒から高齢者や支援を必要とする人々にいたるまで、誰もがその生涯を通じ、あらゆる機会とあらゆる場所においてスポーツが行えること」と本計画書では定義致します。

市民がスポーツを通じて自己実現が図れる生涯スポーツ社会の形成を目指し、本計画書では第四次浦添市総合計画の施策「いつでも、どこでも、だれでも楽しめる生涯スポーツの推進」の具現化を目指し、施策の展開を行います。

2. 基本目標

本市において、市民が各々の関心、適性等に応じて、安全かつ公正な環境の下で日常的にスポーツに親しみ、楽しみ、また支える活動に参画する機会を確保しなければなりません。

本計画書の基本方針を実現し、本市の目指す生涯スポーツ社会の実現のため、次のとおり、基本目標を掲げます。

1. 気軽にスポーツ活動が行える環境整備の推進

市民が気軽にスポーツ活動を行うため、スポーツ環境をソフト面、ハード面、人材育成、確保の面から捉え、関係団体と協力し市民のスポーツ実施率の目標値達成に向けて、環境の整備を図ります。

2. ライフステージに応じたスポーツ活動の推進

幼児・児童・生徒から高齢者や支援を必要とする人々まで、全ての市民がスポーツの恩恵を享受できる生涯スポーツ社会の実現をするため、それぞれのライフステージに応じたスポーツ活動を推進します。

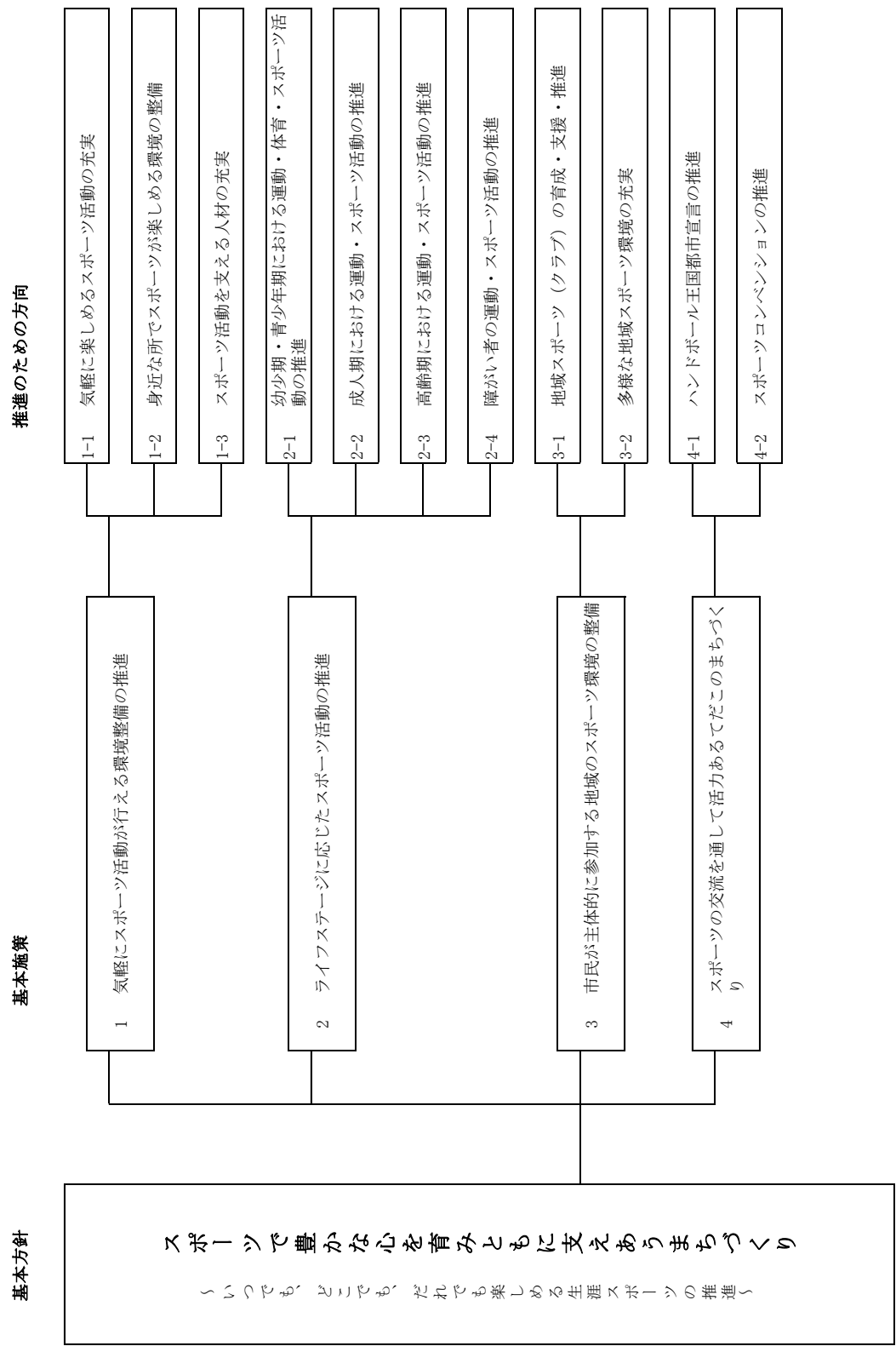
3. 市民が主体的に参加する地域のスポーツ環境の整備

地域スポーツ活動の支援を行うことで、市民が気軽に定期的にスポーツに親しむことができるような環境の整備を行うとともに、地域が主体となってスポーツを行うことができるための環境の整備を図ります。

4. スポーツの交流を通して活力あるてだこのまちづくり

ハンドボール王国都市宣言など、本市の特色あるスポーツ環境を活かし、全国規模のイベントや大会の誘致を行い、スポーツ・ツーリズムの推進を図ります。また、市外、県外のスポーツイベント参加者と市民の交流や、プロスポーツと市民の交流等、スポーツコンベンションの推進も図ります。

浦添市スポーツ推進計画 施策の体系図



第4章 推進のための施策

1. 気軽にスポーツ活動が行える環境整備の推進

【目標】

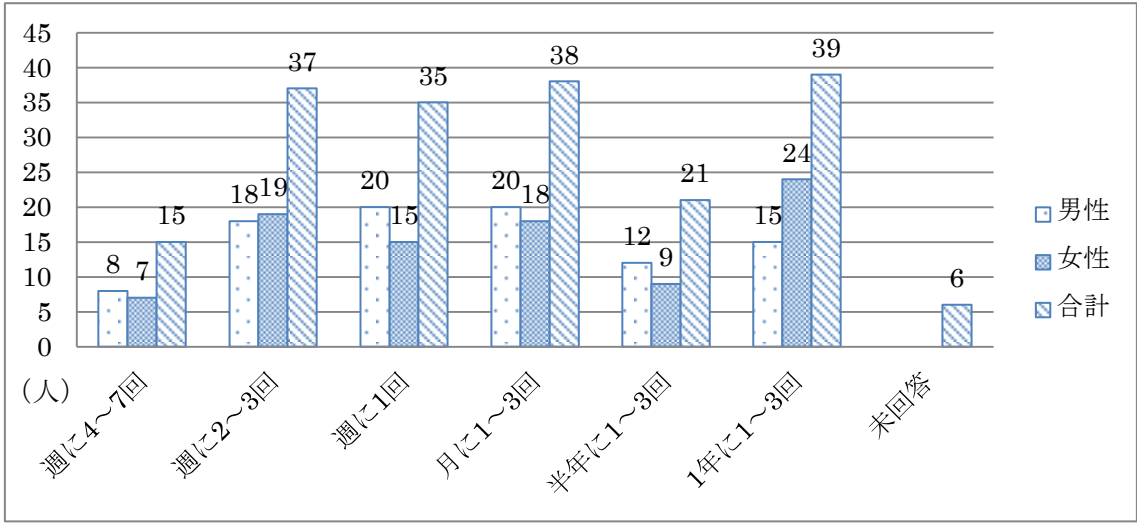
平成 26 年 1 月に実施した市民アンケート調査では、市民の週 1 回以上のスポーツ実施率は約 43.2%と、県全体のスポーツ実施率 39.0%（「県民の体力・スポーツに関する意識調査」（平成 24 年度））に比べると、比較的スポーツに親しんでいる割合が大きいことが分かります。しかしながら、週 3 回以上のスポーツ実施率は約 16.9%であり、県全体の 17.7%をやや下回っております。

国が策定したスポーツ基本法では、政策目標として成人の週 1 回以上のスポーツ実施率が 3 人に 2 人（65%程度）、週 3 回以上のスポーツ実施率が 3 人に 1 人（30%程度）としており、本市においても同様に成人の週 1 回以上のスポーツ実施率が 3 人に 2 人（65%程度）、週 3 回以上のスポーツ実施率が 3 人に 1 人（30%程度）となることを目標とし、各施策の推進を行います。

成人のスポーツ実施率		現状（H26）	目標（H35）
指 標	週 1 回以上のスポーツ実施率	43.2%	65.0%
	週 3 回以上のスポーツ実施率	16.9%	30.0%

参考データ（市民アンケートより）

問 4 あなたは運動やスポーツを、ここ 1 年どのくらい行いましたか。

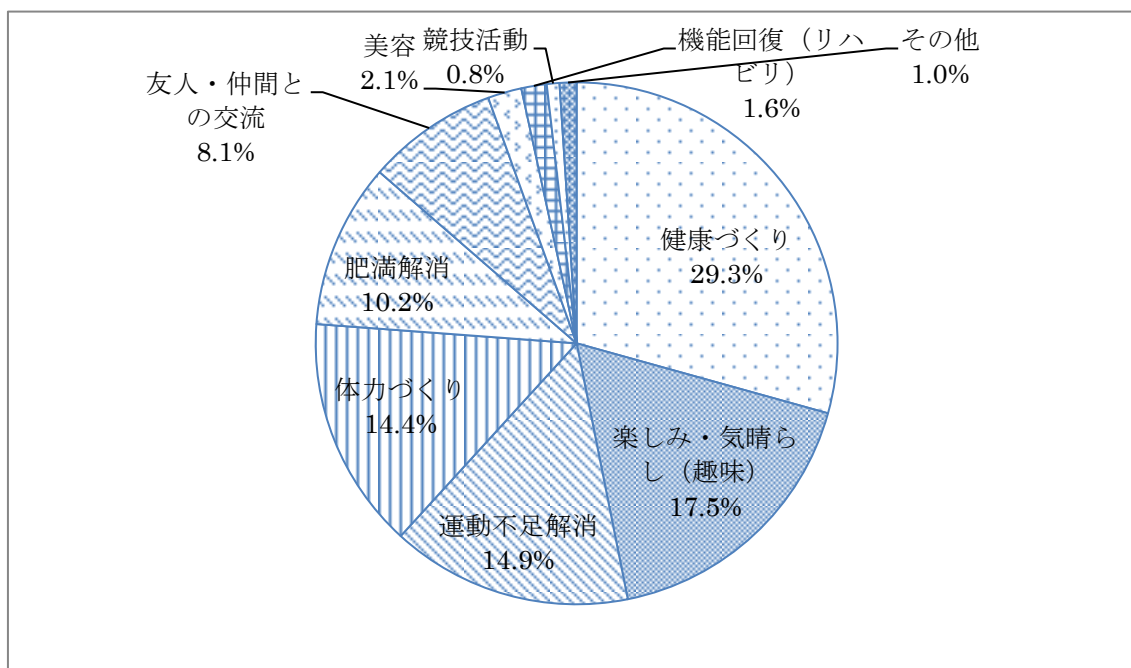


【現状と課題】

(1) スポーツの活動理由

現状：運動やスポーツ活動を行う理由（メリット）を見ると、「健康づくりのため」が最も多く、「楽しみ・気晴らし（趣味）のため」「運動不足解消のため」「体力づくりのため」の順になっています。

運動・スポーツ活動を行う理由



(2) スポーツ活動をしていない理由

現状：現在スポーツを行っていない理由として、20代から50代まで幅広く答えていたのが、「忙しくて時間がない」「仕事や家事で疲れている」でした。60代になると、「機会がない」「仲間がいない」「施設や場所がない」といった回答も増えてきています。70代以降になると「ケガや病気のため」「年をとったから」といった理由が最も多くなります。

課題：継続的にスポーツ活動が行えるよう、年齢や様々な生活スタイルに対応した取組が求められています。また、スポーツ活動に触れる機会の提供を行い、継続的なスポーツ活動へのきっかけづくりが大切です。

(3) スポーツ活動をするうえで必要なこと

現状：運動やスポーツ活動をするうえで、必要だと思うことは、「余暇時間」「意欲・動機」「気持ちのゆとり」「興味・関心」の順となっています。

課題：それぞれの生活スタイルに合わせたスポーツ事業の開催が求められます。また、スポーツを行うことで得られる効果の周知に努め、市民の意欲・動機を高めることが重

要です。

（４）スポーツに関する情報

現状：アンケート記述を見ると、施設の情報やスポーツ教室等の情報が取得できていない市民も多いように思えます。多くの市民がスポーツに関する情報について、「友人」「テレビ」「インターネット」「新聞」と答えています。特に30代、40代については、インターネットという回答が多くなっております。

課題：従来の広報紙等に加えて、インターネット等の様々な媒体を使った広報活動を行っていくことが重要です。

（５）浦添市のスポーツ大会への関心

現状：スポーツ活動を現在行っていない人は、スポーツ活動をしている人に比べて、浦添市のスポーツ大会に関心が高い傾向があります。

課題：スポーツ大会の存在を知らない人が、浦添市のスポーツ大会の情報取得ができる環境の充実が求められます。スポーツ大会の企画・運営・広報の工夫が必要です。

第4章 推進のための施策

【推進のための方向】

(1) 気軽に楽しめるスポーツ活動の充実

	施策	内容	関係課
①	ニーズに即したスポーツイベントや教室の開催	健康づくりや運動不足解消等それぞれのニーズに即したスポーツイベントや教室の充実を浦添市体育協会や浦添市スポーツ推進委員と連携して図り、市民がスポーツ活動へ参加しやすい環境整備を行います。	社会体育課
②	スポーツに気軽に親しむことのできる機会の提供	毎年体育の日に開催している「いきいきスポーツレクリエーション祭り」や、親子で参加できる「てだこウォーク」など、幼児・児童・生徒から高齢者や支援を必要とする人々まで、全ての市民が、スポーツ活動に親しむことができるイベントの充実を図ります。	社会体育課
③	スポーツ大会やイベントの広報強化	広報うらそえや市ホームページ、浦添市立体育施設ホームページや浦添市温水プールまじゅんらんどホームページなど、情報取得の手段を広げるなどして、スポーツ大会や各種イベントの広報強化に努めます。	社会体育課 国際交流課
④	施設情報広報強化	浦添市立体育施設や浦添市温水プールまじゅんらんど、サン・アビリティーズうらそえなどの施設情報について、紙媒体からインターネットなど様々な手法を使って市民に発信し、市民がそれぞれの生活スタイルで施設の利用ができるよう促進します。	社会体育課 国際交流課
⑤	スポーツサークルの紹介	市内で活動するスポーツサークルの紹介を浦添市体育協会と連携して行い、市民のスポーツ活動活性化ができる環境づくりに努めます。	社会体育課

第4章 推進のための施策

	施策	内容	関係課
⑥	ウォーキングマップの整備	市民が気軽にウォーキングに参加できるよう、ウォーキングコースを策定し、ウォーキングマップの作成や市健康ウォーキング協会主催の定例ウォーキング等の紹介を行います。	社会体育課
⑦	メッツ表の紹介	身体活動の強度を表すメッツ表を市民に紹介し、市民が効果的な運動を行えるような環境の整備を行います。	社会体育課 健康づくり課
⑧	3kg減量市民大運動との連携	市が実施している3kg減量市民大運動で発行している健康チャレンジ手帳での軽運動やウォーキング等の紹介を通して、市民のスポーツ活動へのきっかけづくりを行います。	健康づくり課

第4章 推進のための施策

(2) 身近な所でスポーツが楽しめる環境の整備

	施策	内容	関係課
①	スポーツ施設の整備推進	浦添市立体育施設や浦添市温水プールまじゅんらんの施設老朽化に対し計画的に改築・修繕を進めるなどし、本市のスポーツ活動拠点である浦添運動公園の整備・充実に取り組むとともに、新たな施設の設置に向け関係機関と連携し検討致します。	社会体育課 美らまち推進課
②	学校体育施設開放事業の充実	多くの市民が定期的にスポーツ活動が行える学校体育施設開放事業を継続しながら、設備・備品・照明等の整備に対応するとともに、多くの市民が利用できるようサービスの向上を図ります。	社会体育課 教育委員会総務課
③	公園施設の整備	身近な公園において気軽に運動を楽しむことができるよう、公園の健康遊具や多目的広場の充実など環境整備に努めます。	美らまち推進課

第4章 推進のための施策

(3) スポーツ活動を支える人材の充実

	施策	内容	関係課
①	スポーツ推進委員の確保・資質向上	スポーツ推進委員の確保に努めるとともに、スポーツ大会、イベントの企画・運営や、スポーツ指導の充実を図るため、県や地区の研究大会、研修会、及び各講習会への参加促進を行います。	社会体育課
②	スポーツ推進委員の活用促進	スポーツ推進委員が地域スポーツの推進を担うリーダーとして活動してもらうために、各種広報を活用して認知度を高め、また自治会をはじめとした地域や学校等への派遣充実を図ります。	社会体育課
③	スポーツ少年団等の指導者の確保・資質向上	浦添市体育協会と連携し、スポーツ少年団等の指導者の確保に努めるとともに、指導者講習会を実施し、有資格者を増やし資質向上に努めます。	社会体育課
④	てだこ市民大学での地域キーパーソンの育成	てだこ市民大学において、健康福祉・スポーツの分野を専門的に学習し、市民の健康増進、福祉の向上、生涯スポーツの振興に寄与する地域のキーパーソン（実践指導者や学習プログラムの企画開発者等）を育成します。	生涯学習振興課
⑤	浦添市体育協会への支援	スポーツ関連イベントを年間 100 余開催し、各種スポーツの普及や底辺拡大とともに、加盟団体を統括し、心身共に健康な市民育成と明朗な市民生活に寄与する浦添市体育協会を支援します。	社会体育課

第4章 推進のための施策

	施策	内容	関係課
⑥	スポーツボランティアの育成	浦添市体育協会と連携し、スポーツボランティアの育成を図り、地域でスポーツを行っている人材が新しく支援者となって地域で活躍するサイクルづくりを行います。 また、ボランティア登録バンクなど、ボランティア参加の仕組みづくりを検討し、主催者とボランティア側が相互でマッチできる体制の整備に努めます。	社会体育課

2. ライフステージに応じたスポーツ活動の推進

【目標】

幼児・児童・生徒から高齢者や支援を必要とする人々にいたるまで、誰もがその生涯を通じ、あらゆる機会とあらゆる場所においてスポーツを行うことで、各自の多様な喜び、楽しみを見出し、感じ取り続けられる環境の整備を行います。

スポーツ基本計画においては、特に子どもの体力向上が重要ポイントとしてあげられており、また子どもの体力向上は「学力向上」「問題行動の減少」「社会性の育成」等に効果があると考えられています。本市においても、昭和 60 年頃から全国的に低下傾向にある、子どもの体力の向上を目標とします。

【現状と課題】

（１）小学生の体力向上取組

現状：学校全体で体力向上の目標を検討する機会を設けている学校は、全国と比べ約 17 ポイントの差があります。また、学校全体で体力・運動能力向上の目標設定をしている学校は、全国と比べ約 21 ポイント、県と比べ 11 ポイントの差があり、さらに児童の運動習慣の状況把握も全国と比べ約 23 ポイント、県と比べ約 28 ポイントの差があります。しかしながら、体力・運動能力を向上させる取組は県より 10 ポイント上回っています。

課題：児童の運動状況把握に努め、学校毎に体力・運動能力向上の目標設定を行い、ニーズに合わせた運動に親しむための取組を行っていくことが必要となります。

（「平成 25 年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査」より）

（２）中学生の体力向上取組

現状：男子女子ともに保健体育授業の重要性の認識は、小学校 5 年生時と比べ、男子で約 6 ポイント、女子で約 11 ポイント高まっていますが、保健体育の授業について楽しいと答えた子の割合は減っています。また、学校全体で体力・運動能力を昭和 60 年水準に向上させる取組は全国と比べ約 7 ポイントの差があり、その取組内容としては、学校部活動の充実があげられます。

課題：保健体育授業における指導の工夫・改善を継続して図り、生徒に保健体育の授業に親しみを持たせることが重要です。また、体力・運動能力向上への取組が、学校部活動への偏りが見られるため、多種多様な選択肢の取組を持って、生徒のニーズに合わせ運動に親しむ機会を提供していくことが必要です。

（「平成 25 年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査」より）

（３）幼少期・児童生徒の体力・運動能力の二極化

現状：全国的にも課題となっているように、本市においても運動をしている子どもとそうでない子どもとの間での体力・運動能力の二極化が進んでいる状況が懸念されております。

課題：二極化の状況把握と解消に向けた施策が必要となります。

（４）幼少期・児童生徒の肥満傾向

現状：沖縄県と全国の肥満傾向児出現率を比較すると、男女ともに全国平均を上回っています。子どもの肥満は、将来の肥満や生活習慣病に結びつきやすいとの報告もあります。

課題：肥満解消に向けて運動習慣の定着を図る取組を行わなければなりません。

（５）女子児童生徒のスポーツ離れ

現状：男子児童生徒に比べ、女子児童生徒においては、高学年になるにつれ、スポーツから離れていく傾向があります。運動が好きと答えた女子児童生徒は小学校１・２年生時に比べ中学校２年生時では約８ポイント下がっており、運動が得意と答えた女子児童生徒は小学校１・２年生時に比べ中学校２年生時では約１９ポイント下がっています。

課題：女子児童のスポーツに対する意識やニーズの把握及びスポーツに親しむ取組が必要となります。

（平成 25 年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査）

（６）スポーツ活動への偏重化

現状：スポーツ活動への偏重化も一部の児童生徒で見られます。平成 23 年度に沖縄県教育委員会が出した「沖縄県児童生徒の生活実態調査 結果報告書」では、一日も休まずに行う部活動や、休日に長時間やる部活動という過剰な状態が子どもたちの生活リズムを圧迫している可能性について指摘しております。

課題：行政、学校、その他関係団体等と連携を図りながら、望ましい部活動、スポーツ活動について検討し推進していくことが重要となります。

（7）スポーツ活動をしない理由

現状：現在スポーツを行っていない理由として、20代から50代まで幅広く答えていたのが、「忙しくて時間がない」「仕事や家事で疲れている」でした。60代になると、「機会がない」「仲間がいない」「施設や場所がない」といった回答も増えてきています。70代以降になると「ケガや病気のため」「年をとったから」といった理由が最も多くなります。

課題：継続的にスポーツ活動が行えるよう、年齢や様々な生活スタイルに対応した取組が求められています。また、スポーツ活動に触れる機会の提供を行い、継続的なスポーツ活動へのきっかけづくりが大切です。

（8）成人の肥満傾向

現状：浦添市の40歳～60歳代における肥満者の割合（平成22年度）は、男性が44.6%、女性が31.4%となっており、全国の平均値（男性31.2%、女性22.2%）を大きく上回っている状況です。

課題：肥満は生活習慣病の原因となるものです。継続的なスポーツ活動を通して生活習慣の適正化を図り肥満解消を行うことが重要です。

（9）女性のスポーツ活動

現状：浦添市のスポーツ活動状況では、男女で有意差があり、男性の約60%がスポーツ活動を行っているのに対し、女性が約38%と女性のスポーツ活動が低いという結果が見て取れました。また、女性の約44%が、スポーツ活動を近いうちに始めたいと考えています。

課題：女性においては、スポーツ活動への内発的動機は持っているが、実際に行動にうつせていない現状があるものと考えられます。女性がスポーツ活動をしやすい環境を整えることが重要です。

（10）障がい者のスポーツ活動

現状：障がい者のスポーツ活動は、生きがいづくりや充実感を生みだし、社会参加の拡充を促進するものです。沖縄県身体障害者スポーツ大会の練習を浦添市陸上競技場で行ったり、サン・アビリティーズうらそえ等でスポーツ教室を開催したりといった現状があります。

課題：障がい者がスポーツに気軽に楽しめるスポーツ教室の開催及び充実が求められているとともに、障がい者と健常者が交流を図り、一緒に行えるスポーツ大会やイベント等の開催が求められています。

第4章 推進のための施策

【推進のための方向】

(1) 幼少期・青少年期における運動・体育・スポーツ活動の推進

	施策	内容	関係課
①	幼児期からの遊びを通した運動習慣の確立	成長発達の著しい幼児期においては、身体活動を伴った遊びやスポーツに親しみ運動の楽しみを感じ取ることが出来るようにします。	保育課
②	児童センター、学童クラブ等のスポーツ活動充実	子どもたちの居場所を確保し、心身の健全な育成を図るため、児童センターでの運動、スポーツ活動支援を行い、体力増進を図ります。	保育課
③	放課後子ども教室におけるスポーツ活動の充実	放課後や週末等に地域住民の協力のもと、スポーツに親しむ機会を提供し、スポーツ活動の習慣化へのきっかけづくりを行います。	生涯学習振興課
④	総合型地域スポーツクラブへの参加促進	身近な地域での運動機会の確保に向け、総合型地域スポーツクラブの活動支援及び参加促進を進めます。	社会体育課

第4章 推進のための施策

	施策	内容	関係課
⑤	小学校での体力向上の促進	体育の授業においては、適切な運動量の確保、運動することの楽しさや喜びを味わわせる等、発達段階に応じた指導の工夫・改善を図ります（昼休み・放課後等の活動と関連づけた授業づくり）。 また、新体力テストや泳力テスト等を計画的に実施するとともに、校内体力向上推進委員会(仮称)において分析・把握し、学校や個に応じた目標の設定をもとに、家庭・地域と連携した運動の日常化の取り組みを推進する等、児童の体力の向上に努めます。 (昭和60年頃の水準目標)	学校教育課
⑥	中学校での体力向上の促進	保健体育の授業においては、多くの運動領域の体験を通して、適切な運動量の確保、運動の楽しさや喜びを味わわせる等、発達段階に応じた指導の工夫・改善を図ります（生徒自ら主体的に取り組む体育的行事や運動部活動等につなげた授業づくり）。 また、新体力テストや泳力テスト等を計画的に実施するとともに、校内体力向上推進委員会(仮称)において分析・把握し、学校や個に応じた目標の設定をもとに、運動の日常化や豊かなスポーツライフの実現を図る取り組みを推進する等、生徒の体力の向上に努めます。 (昭和60年頃の水準目標)	学校教育課
⑦	女子児童生徒の運動・スポーツに親しむ意欲の喚起	年代が進むにつれ、女子児童生徒の運動・スポーツ離れがあるため、女子児童生徒が求める種目の紹介等、ニーズに合わせながら運動・スポーツに親しむ習慣や意欲を培うための取組の工夫を図ります。	学校教育課

第4章 推進のための施策

	施策	内容	関係課
⑧	スポーツ少年団の育成支援	小学生が適切なスポーツ活動に親しんでもらうため、少年団加入を促進するとともに、浦添市体育協会と連携しスポーツ少年団指導者の講習会を行い有資格者を増やし、指導能力向上を図ります。	社会体育課
⑨	運動部活動の活性化や適正化の促進	中学校運動部活動においては、加入率を高めたり、外部指導者を積極的に活用するなど活性化を図るとともに、生徒のバランスのとれた生活や成長のためにも休養日や練習時間を適切に設定するなど、運動部活動の適正化を推進します。	学校教育課
⑩	派遣事業支援	浦添市の児童・生徒がスポーツ活動において全国で活躍できる体制を強化するため、九州大会や全国大会など県外派遣の支援を行い、児童生徒間の交流を図りながら健全育成を行います。	教育委員会総務課
⑪	がんじゅうアッププログラムの普及と検証	沖縄県教育委員会が普及を進めている「がんじゅうアッププログラム」を本市においても普及し、児童生徒が運動の楽しさや喜びを味わうことができるよう支援を行います。 (一校一事業の実施) ※学校の事情に合わせて一校毎に体力向上の取組を行っていくこと。	学校教育課

第4章 推進のための施策

(2) 成人期における運動・スポーツ活動の推進

	施策	内容	関係課
①	ライフスタイルに合わせたスポーツイベントや教室の開催	20代から50代までの人が忙しくて時間が無いなどの理由でスポーツを行えていないことから、最もスポーツ活動をするうえで都合が良いと答えている平日夜間を中心に、ライフスタイルに合わせながらスポーツイベントや教室の充実を図り、市民がスポーツ活動へ参加しやすい環境整備を行います。	社会体育課
②	女性をターゲットにしたスポーツイベントや教室の開催	女性においては、スポーツ活動への内発的動機は持っているが、実際に行動にうつせていない現状があるものと考えられます。健康づくりや美容、肥満解消など、女性が考えるスポーツ活動のメリットを絡め、なおかつ活動しやすい日時でのスポーツ教室やイベント等の開催に努めます。	社会体育課
③	ニュースポーツの普及推進	普段スポーツを行っていない人でも気軽に行えるニュースポーツを、浦添市スポーツ推進委員協議会を中心として各自治会と連携し、紹介・普及し、市民が気軽に運動に親しむことができる環境の整備を行います。	社会体育課
④	学校体育施設開放事業の充実	多くの市民が定期的にスポーツ活動が行える学校体育施設開放事業を継続しながら、設備・備品・照明等の整備に対応するとともに、多くの市民が利用できるようサービスの向上を図ります。(再掲)	社会体育課 教育委員会総務課

第4章 推進のための施策

	施策	内容	関係課
⑤	スポーツサークルの紹介	市内で活動するスポーツサークルの紹介を浦添市体育協会と連携して行い、市民が習慣的にスポーツ活動を行える居場所づくりに努めます。(再掲)	社会体育課
⑥	ウォーキングマップの整備	市民が気軽にウォーキングに参加できるよう、ウォーキングコースを策定し、ウォーキングマップの作成や市健康ウォーキング協会主催の定例ウォーキング等の紹介を行います。(再掲)	社会体育課

第4章 推進のための施策

(3) 高齢期における運動・スポーツ活動の推進

	施策	内容	関係課
①	高齢者のスポーツ 機会の創出	高齢になるほどスポーツを行う機会が少なくなることから、高齢者向けのスポーツ教室や大会等を、浦添市体育協会を中心に開催し、機会の充実を図ります。	社会体育課
②	女性をターゲット にしたスポーツイベ ントや教室の開催	女性においては、スポーツ活動への内発的動機は持っているが、実際に行動にうつせていない現状があるものと考えられます。健康づくりや美容、肥満解消など、女性が考えるスポーツ活動のメリットを絡め、なおかつ活動しやすい日時でのスポーツ教室やイベント等の開催に努めます。(再掲)	社会体育課
③	総合型地域スポー ツクラブへの加入促 進	継続的かつ自主的に行える総合型地域スポーツクラブへの参加促進を行い、高齢者の居場所づくりに寄与するとともに、定期的にスポーツに親しむことができる環境の整備を図ります。	社会体育課
④	老人クラブ連合会 の活動支援	スポーツ大会を各種行っている老人クラブ連合会の活動支援を行い、高齢者の健康増進と生きがいづくりを促進するとともに、会員相互の親睦を図り居場所づくりに寄与します。	福祉給付課
⑤	スポーツサークル の紹介	市内で活動するスポーツサークルの紹介を浦添市体育協会と連携して行い、市民が習慣的にスポーツ活動を行える居場所づくりに努めます。(再掲)	社会体育課

第4章 推進のための施策

	施策	内容	
⑥	ウォーキングマップの整備	市民が気軽にウォーキングに参加できるよう、ウォーキングコースを策定し、ウォーキングマップの作成や市健康ウォーキング協会主催の定例ウォーキング等の紹介を行います。（再掲）	社会体育課

第4章 推進のための施策

(4) 障がい者の運動・スポーツ活動の推進

	施策	内容	関係課
①	障がい者と健常者が一緒に行えるスポーツイベントの開催	「てだこウォーク」等の、障がい者と健常者が一緒に行えるようなスポーツイベントを開催し、障がい者がスポーツに親しむとともに、健常者と交流を行える環境の整備を行います。	社会体育課
②	障がい者スポーツ教室、大会の実施	サン・アビリティーズうらそえが年間を通して行っているスポーツ教室の充実を図り、さらにスポーツ大会を開催することで、スポーツの楽しみを感じ取れる環境の整備を行います。	福祉給付課
③	障がい者スポーツ団体設立支援	障がい者スポーツ活動について、関係団体と連携し、障がい者スポーツ団体の設立に努め、底辺拡大及び普及が行える環境の整備を行います。	社会体育課
④	スポーツ推進委員の活用	障がいの特性に応じた指導や助言が行えるよう研修を通しスポーツ推進委員の知識・技能向上を図り、その活用を促進します。	社会体育課 福祉給付課

3. 市民が主体的に参加する地域のスポーツ環境の整備

【目標】

地域スポーツの支援を行い、市民が気軽に定期的にスポーツに親しむことができるような環境の整備を行うとともに、地域が主体となってスポーツを行うことができるための環境の整備を図ります。

【現状と課題】

（1）総合型地域スポーツクラブの周知

現状：現在、本市には総合型地域スポーツクラブが2クラブ創設されており、それぞれ自立的に運営がなされています。しかしながら、市民アンケートの結果を見ると、9割以上の市民がその存在を知っておりません。

課題：地域に総合型地域スポーツクラブがあれば加入したいと答えた市民が4割弱いることから、統合型地域スポーツクラブの周知が必要となります。

（2）総合型地域スポーツクラブの活動

現状：総合型地域スポーツクラブの活動継続が難しい場面もあり、地域住民のスポーツ活動の拠点となりスポーツを楽しむことができる場として地域に定着していくための支援が必要となっております。

課題：総合型地域スポーツクラブへの支援方策を検討していくとともに、地域の関係団体やクラブ間交流などを行うなどして、地域スポーツの環境整備を図っていくことが重要となります。

（3）浦添市体育協会の活動

現状：市民のスポーツ普及奨励のため、各種スポーツ教室や、年間100余のスポーツイベントを自治会と連携しながら開催しています。

課題：現在の活動を推進しつつ、さらに底辺拡大を目指した取組が求められます。また、22の加盟団体がある組織を活かし、様々な競技で地域スポーツの推進者としてトップスポーツの推進から後進の育成までの活動が求められます。

（4）地域のスポーツ団体の活動

現状：地域のスポーツ団体の活動場所として、学校体育施設開放や浦添市立体育施設等がありますが、キャンセル待ちや予約待ちの団体もあり、十分であるとは言えません。

課題：活動場所確保について、学校や体育施設と連携をしながら、より市民が利用しやすい環境の整備をしていく必要があります。

（５）地域スポーツの人材

現状：人材の面で言えば、浦添市体育協会やその加盟団体、スポーツ推進委員やスポーツボランティア等がいます。

課題：地域スポーツ指導者の確保・育成を行い、地域へ参画していく環境作りが必要になります。特に、スポーツボランティアについては、平成26年度から取組を開始したものであるため、その理念や取組内容が市民に十分周知されてはおりません。研修会、講習会等を開催し、技能向上を図りながら、支えるスポーツの推進を市民へ周知していく必要があります。

第4章 推進のための施策

【推進のための方向】

(1) 地域スポーツ（クラブ）の育成・支援・推進

	施策	内容	関係課
①	総合型地域スポーツクラブの周知	総合型地域スポーツクラブへの参加促進を図るため、市ホームページや広報誌、他媒体等にて総合型地域スポーツクラブの活動内容や参加の仕方などの紹介を行うなどし、市民周知を行います。また、クラブ自らの活動内容発信を促進します。	社会体育課
②	総合型地域スポーツクラブの支援	総合型地域スポーツクラブの育成・活動支援方法について検討し、県やクラブ関係者や関係団体と連携を図りながら、長期を見据えたクラブ運営を支援します。	社会体育課
③	浦添市体育協会の支援	スポーツ関連イベントを年間 100 余開催し、各種スポーツの普及や底辺拡大とともに、加盟団体を統括し競技力向上に向けた活動を行い、心身共に健康な市民育成と明朗な市民生活に寄与する浦添市体育協会を支援します。(再掲)	社会体育課
④	学校体育施設開放事業の充実	学校体育施設開放事業の周知を市民へ行い、地域スポーツ団体への活動場所の提供を行います。また、昼間の学校体育施設開放についても市民へ周知し、活動支援を行います。(再掲)	社会体育課 教育委員会総務課

第4章 推進のための施策

(2) 多様な地域スポーツ環境の充実

	施策	内容	関係課
①	スポーツ推進委員の確保・資質向上	スポーツ推進委員の確保に努めるとともに、スポーツ大会、イベントの企画・運営や、スポーツ指導の充実を図るため、県や地区の研究大会、研修会、及び各講習会への参加促進を行います。(再掲)	社会体育課
②	スポーツ推進委員の活動充実	スポーツ推進委員が市民への実技指導やスポーツ事業の企画、立案、運営等を行い、スポーツ機会の提供を行うとともに、地域と行政の連絡調整役として総合型地域スポーツクラブや地域スポーツクラブなどに関わり、より充実したスポーツ活動環境の整備に努めます。	社会体育課
③	てだこ市民大学での地域キーパーソンの育成	てだこ市民大学において、健康福祉・スポーツの分野を専門的に学習し、市民の健康増進、福祉の向上、生涯スポーツの振興に寄与する地域のキーパーソン（実践指導者や学習プログラムの企画開発者等）を育成します。(再掲)	生涯学習振興課
④	自治会対抗競技大会の支援	浦添市体育協会が行っている地域スポーツ大会の祭典である各自治会対抗競技大会の開催に向けた支援を継続して行い、地域スポーツの活動機会として確立し、スポーツ環境の充実に努めます。	社会体育課
⑤	後進の育成環境の整備	浦添市体育協会等が、その組織を活かし、スポーツ少年団等の指導・支援を行い、後進の育成を図る環境の充実に努めます。	社会体育課

第4章 推進のための施策

	施策	内容	関係課
⑥	ウォーキングマップ作製	市民が気軽にウォーキングに参加できるよう、ウォーキングマップの作成を行い、スポーツを気軽に始められる環境整備に努めます。(再掲)	社会体育課
⑦	スポーツボランティアの育成	スポーツボランティア団体の育成を行い、地域スポーツのボランティアスタッフとして大会運営等に積極的に参画する仕組み作りに努めます。	社会体育課
⑧	スポーツ指導者講習会の実施	スポーツ推進委員や、地域スポーツ指導者の講習会を実施し、知識・技能を高め、より充実した地域スポーツの支援が図られるよう努めます。	社会体育課

4. スポーツの交流を通して活力あるてだこのまちづくり

【目標】

沖縄県が推進しているスポーツ・ツーリズム戦略を本市でも受け継ぎ、地域特色を活かした「ハンドボール王国都市宣言」や「東京ヤクルトスワローズキャンプ」の推進を図り、本市の魅力を内外に大きくアピールすることで地域活性化を図ります。また、スポーツコンベンションの充実を図るため、スポーツイベント等を通して本市への入域増を図り、地域活性化に繋がります。併せて市民がトップアスリートによる競技を直接観戦できる機会の充実や、本市ホームチームの応援機運醸成などを図り、観るスポーツの充実も図ります。

【現状と課題】

(1) ハンドボール王国都市宣言

現状：本市では、平成16年に「ハンドボール王国都市宣言」を行っており、市内ハンドボールチームの活動は非常に活発で、特に小学校、中学校においては全学校にハンドボールクラブが存在し、顕著な成績を残しております。また、本市をホームに活動を行っている日本ハンドボールリーグ所属の琉球コラソンなども、プロスポーツの観戦機会の提供を行うとともに、ハンドボール教室を活発に行うなどの活動を行っています。

課題：本市におけるハンドボール競技の一層の推進を行い、底辺からトップまでのピラミッドの充実に努めることが重要です。

(2) スポーツコンベンション

現状：2000年からは東京ヤクルトスワローズキャンプが浦添市民球場で始まり、県内外から多くの方が観戦に来られています。また、近年では、日本ハンドボールリーグの公式試合などを浦添市民体育館にて開催しています。

課題：このような、本市スポーツの地域資源やスポーツの土壌を活用し、地域活性化の充実を図っていかなくてはなりません。

(3) てだこウォーク

現状：浦添市の春の3大風物詩の1つであるてだこウォークは、例年7,000人程度が参加するイベントとなっており、市外や県外からの参加者が見込めるイベントの1つです。

課題：イベントの充実や広報強化を図り、スポーツ・ツーリズム戦略の推進を図っていく必要があります。

（４）トップスポーツ

現状：東京ヤクルトスワローズのキャンプやオープン戦、日本ハンドボール公式リーグ開催などのトップアスリートによるスポーツ大会、イベントがあります。

現状：本市におけるトップアスリートとの交流事業の活発化を通して、観るスポーツの環境整備や、地域交流の充実などを行い、市民のスポーツに対する感受性の醸成や、スポーツの魅力などを受け取れる環境整備に努めていく必要があります。

第4章 推進のための施策

【推進のための方向】

(1) ハンドボール王国都市宣言の推進

	施策	内容	関係課
①	琉球コラソンの支援	本市をホームとして活動している琉球コラソンの応援機運醸成を図るため、琉球コラソンのPRや活動協力を努めます。また、練習場所の確保等、活動の環境整備を支援します。	社会体育課
②	浦添市ハンドボール王国まっりの充実	日本ハンドボールリーグに併せて行っている浦添市ハンドボール王国まっりを充実させ、市内外へ琉球コラソンをPRし、スポーツ・ツーリズムの実現に向けて推進するとともに、トップスポーツ観戦の機会をつくることで、観るスポーツの環境整備を図ります。	社会体育課
③	ハンドボールスクール充実	浦添市いきいきスポーツ・フェスティバル等で行っているハンドボールスクールなど、底辺拡大の環境充実に努めます。	社会体育課

第4章 推進のための施策

(2) スポーツコンベンションの推進

	施策	内容	関係課
①	沖縄県との連携	県が掲げる沖縄21世紀ビジョン基本計画の「スポーツを活用した地域活性化の推進」に基づいた「スポーツコミッション沖縄(仮称)」の発足が予定されていることから、スポーツ・ツーリズムの拡大に向け、連携体制の構築に努めます。	商工産業課 社会体育課
②	東京ヤクルトスワローズキャンプの支援	毎年2月に行われる東京ヤクルトスワローズキャンプの支援継続を行い、市内外から来られる方を増やし観光に結びつけながら、市内小学校等との交流の機会をつくることで、地域活性化を図ります。また、観るスポーツの環境整備充実に努めます。	商工産業課
③	日本ハンドボールリーグの開催支援	本市民体育館を会場として行われる日本ハンドボールリーグ開催に併せて、浦添市ハンドボール王国まつりと題し、大会開催を支援します。	社会体育課
④	てだこウォークの充実	地域と県外ウォーカーの交流を狙って開催しているてだこウォークの充実を図り、より多くの人が入域するイベント内容になるよう努めます。	社会体育課
⑤	友好都市蒲郡市との交流事業推進	友好都市の蒲郡市と浦添市体育協会が現在行っているスポーツでの交流事業の推進を行い、相互の友好親善及び地域活性化を図ります。	国際交流課
⑥	スポーツ大会、イベントの誘致	地域環境や地域特性を活かし、全国規模、九州規模の大会誘致を行い、観るスポーツの充実を図るとともに、入域増による地域活性化を図ります。	社会体育課

第4章 推進のための施策

	施策	内容	関係課
⑦	スポーツキャンプ・合宿の誘致	浦添市体育協会や観光協会等関係団体と連携を図りながら、スポーツキャンプ・合宿誘致に取り組めます。	商工産業課 社会体育課

第5章 期待される役割

1. 行政

浦添市は、スポーツ推進に向け、沖縄県 21 世紀ビジョンや沖縄県スポーツ推進計画を踏まえつつ、浦添市総合計画との整合性を合わせながら地域の特性や実情に合う施策展開を行うよう努めます。

施策展開にあたっては、市民や地域スポーツ団体の自主性を尊重し、その活動を支援するような取組を中心に行います。地域のスポーツに対するニーズを把握し、きめ細かな支援を目標として取組にあたります。

また、施設の整備充実については、市民ニーズを踏まえ、誰もが利用できるユニバーサルデザインの視点に立ったスポーツ・レクリエーション施設の充実に努めます。

さらに、近隣市町村との連携を密にし、スポーツ事業の広域化やスポーツコンベンションの推進を図ります。

2. 市民・関係団体等

市民一人ひとりがスポーツ活動を通し自らの健康の保持増進に努めるとともに、スポーツを「する」だけでなく、「支える」活動として、スポーツを通した青少年の健全育成や地域コミュニティの充実などに主体的に取り組む役割を担います。

各競技団体や総合型地域スポーツクラブ、自治会、NPO等においては、地域スポーツの先導を担う立場として、競技力向上や地域づくりの取組へ積極的に活動していくことが期待されます。

3. 浦添市体育協会

浦添市体育協会は、幼児・児童・生徒から高齢者や支援を必要とする人々など、すべての市民がスポーツの恩恵により、健康で明るい市民生活が営めるよう多くの施策を展開しております。22 加盟競技団体と自治会が一体となり「沖縄県民体育大会」の上位入賞と「浦添市自治会対抗総合体育大会」の充実を目指し 100 余りの事業を展開しており、文字通り生涯スポーツ社会の構築を図るため、競技力の向上と市民スポーツの普及に努めています。

市民のスポーツ活動に対する欲求は、行政のみでカバーできるものではありません。未普及スポーツやレクリエーションの普及を図るため、地域スポーツクラブや新たなスポーツ団体の設立に努めることが期待されます。

そのためには「新しい公共」の考え方を一層意識し、行政との連携を一層深め、地域における課題を掘り起こすことが求められます。

4. スポーツ施設等指定管理者

浦添市では、スポーツ関係施設の指定管理者として、①浦添市立体育施設指定管理者②浦添市温水プールまじゅんらんど指定管理者③サン・アビリティーズうらそえ指定管理者などがあります。浦添市のスポーツ活動の中心として、充実した施設利用環境が求められます。

市民が快適に利用できるよう、施設の環境整備に努めながら、指定管理者として自主事業などを通し、市民の健康増進へ機会提供などの積極性が期待されます。

5. 浦添市スポーツ推進委員

浦添市スポーツ推進委員は、市民のスポーツに関して実技の指導を行うとともに、市民がスポーツに関わる機会の提供や、市のスポーツ事業の運営を積極的に行うことが求められます。そのため、自治会をはじめとした地域と行政とのパイプ役として、積極的に連絡調整を担い、地域の生涯スポーツ等の行事や、地域住民の健康の保持増進、体力の向上等のため、スポーツ事業の企画・立案・運営等を積極的に行うことが求められます。さらに、スポーツクラブの創設及び運営への参画、スポーツ指導者の紹介及びスポーツ推進のための連絡調整等の役割も期待されます。

6. 浦添市スポーツ推進審議会

浦添市スポーツ推進審議会は、本計画の効率的・効果的な推進のために、浦添市のスポーツ環境や市民ニーズの把握に努めることが求められます。また、本計画の適切な推進に向け、進捗状況の確認及び施策の点検評価等を行い、社会情勢の変化や施策の評価等により計画内容の見直しが必要となった場合には、適宜見直しを行うことが求められます。